

令和3年度事業報告



ひたすらなるつながり

滋賀の縁創造実践センター

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

目 次

I	令和3年度事業計画の重点事項に基づく主な事業	1
II	部門別事業実施状況	
	経営部門	
	＜総務グループ＞	8
	＜修学・生活資金グループ＞	15
	地域福祉部門	
	＜縁企画・改革グループ＞	25
	＜地域養護・はぐくみグループ＞	25
	＜レイカディア振興グループ＞	69
	人材部門	
	＜介護・福祉人材センター＞	81
	＜社会福祉研修センター＞	93
	福祉用具センター	95

令和3年度事業計画の重点項目に基づく主な事業

定款と第二次経営計画（令和元年度～令和5年度）に基づき、令和3年度は、①令和4年の法人設立70周年に向けた県社協ならでの事業、②コロナ禍で浮かび上がってきた福祉課題への実践、③業務・事務改革の推進の3つの方向性のもと、現場感覚をもって事業を展開した。

第二次経営計画（令和元年度～令和5年度）における事業戦略

- 1の柱 だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できるネットワークづくり
- 2の柱 だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できる居場所づくり
- 3の柱 「ひたすらなるつながり」を創造実践する滋賀の福祉人づくり
- 4の柱 5つの力を磨き、「ひたすらなるつながり」を支える職員づくり
- 5の柱 「ひたすらなるつながり」を実現する活動資金づくり

1 令和4年の法人設立70周年に向けた事業の推進

(1) えにしアカデミーの開学

- ・滋賀の福祉人が一段の高みを目指して成長していくことを支える学びの形として、「えにしアカデミー」を開学し、実践者として主体的に地域生活課題と向き合い、制度や分野の間を越境し、課題解決の一翼を担う人材を育んだ。

【開学行事】

開催日 令和3年10月4日（月）琵琶湖ホテルにて実施。

出席者 124名 塾生、滋賀県知事、県内社会福祉法人、フェロー等

プログラム 開学宣言、期待のメッセージ、シンポジウム

【第1期塾生・聴講生】

第1期塾生数 30名（応募総数 35名）

聴講生 41名（令和4年3月31日現在）

【カリキュラム】

i オンライン講義

実施講義（一部抜粋）

日程	担当フェロー	講義テーマ
3月18日	北野誠一、清水明彦 廣野俊輔	ほんまもんの地域共生社会をどう展開するのか！
3月25日	鈴野崇	福祉のコストと社会的価値

ii 集合講義（R3年度は実施せず）

iiiゼミ Aゼミ 15名所属、Bゼミ 15名所属

実施状況（一部抜粋）

日程	担当フェロー	授業内容
Aゼミ 11月22日	中島秀夫	問題意識のまとめ方
Bゼミ 12月20日	野村裕美	批判的思考



【受講状況】

塾生のリアルタイム平均出席率 83% ※後日視聴を含めた出席率 100%

聴講生平均出席数 13 名

【フェロー体制】 P67~68 参照

えにしアカデミー塾生の声

「えにしアカデミーの講義をこれまで受けてきて“あたたかい地域になるには、どうしようか”とわくわくするような気持ちで考えていこうとする自分が、少しずつ育っているのではないかと感じています。」

「一人の力で大きくことを動かすことは難しいですが、他分野の団体とつながりあうことで、新たな気持ちでその家族と向き合えることは、このえにしアカデミーで学んだことが活かされつつあると思わずにはられません。」

(2) 滋賀県社会福祉協議会 70 周年記念誌の作成

- ・ 記念誌の発行準備
- ・ 発行時期：令和 4 年 6 月末

【誌面構成】

通史、事業紹介、滋賀県社協へのメッセージ、座談会、年表

【規格】

A4 サイズ、200 頁程度

(3) 滋賀ならではの地域養護・社会との架け橋づくり

① 滋賀県地域養護推進事業

- ・ 社会的養護を経験した者をはじめ、生きづらさを抱えた若者に対し、福祉、就労、保健医療、教育および司法等の関係者や県民等が共働して生活支援、就労支援、居場所づくり等を行う滋賀県地域養護推進協議会の事務局事務の委任を受けた。

【滋賀県地域養護推進協議会の実績】

i 対象者に対する就労や住居および自立生活に関する個別の相談・支援 のべ 445 回

ii 個別ケース会議 計 66 回

iii 進捗会議の実施 計 9 回

iv 対象者に関する「継続支援計画書」の作成

児童養護施設 令和 4 年 3 月全退所者 15 ケース

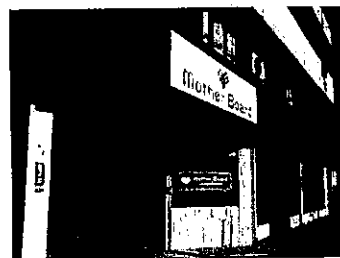
v 地域養護を目的とする事業の企画および実施

居場所づくり

開催日 毎月最終土日の 2 日間実施

場 所 マザーボード (守山市守山 6 丁目 10-68)

参加者 若者のべ 175 名、支援者 (地域住民等含む) 112 名 合計のべ 287 名



② ハローわくわく仕事体験の実施

- ・ 児童養護施設等で暮らしている子どもたちに仕事体験、工場職場見学、キャリアアップセ

セミナー、「しがの子ども仕事体験PARK」等を通じて職業観の育成に取り組んだ。併せて協力企業の新規開拓に取り組んだ。

【実績等】

参加人数 のべ122人
新規協力企業 7社

③児童養護施設退所者自立支援資金貸付事業

- ・通常の貸付に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入が減少した進学者及び就職者に対し、生活支援費を増額及び新たに貸付を行った。また、利用検討の段階から施設職員や里親同席のもと相談の場を設けた。利用後に現状報告や相談を受け、施設や里親、地域養護職員と共働で専門機関へ繋げ、個別会議等を開催し、相談支援を行った。

【実績等】

新規貸付件数 37件（R2実績34件）

(4)「70周年プレ企画」と位置付けた事業の実施

①第40回滋賀県社会福祉学会、学会シンポジウム「第3回ひたすらなるつながりフォーラム」

- ・コロナ感染症の拡大に伴い、全オンライン開催とした。また、学会においては40回の記念回であることから、自由研究発表に加え実践報告も対象とした。

【実績等】

参加者数 289人

自由研究発表 16題、実践報告 15題 全6分科会31題

シンポジウムテーマ「40年を振り返る 滋賀ならではの福祉の価値・それを生み出す現場力」

- ・学会40回を記念し、特別企画小冊子を発行した。

②みんな集まれ！遊べる学べる淡海子ども食堂フェスタ

- ・「ひたすらなるつながり」の理念のもと、感染対策を講じた安心安全な子ども食堂で楽しく交流するイベントを実施した。
- ・たくさんの企業・団体様の協力により遊びコーナーやステージが盛り上がった。
- ・カレーサミットには5か所の子ども食堂が出店。どれも好評であった。

【実績等】

開催日 令和3年11月28日（日）

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 501名（スタッフ含む）

内 容 子ども食堂カレーサミット、ステージコーナー、遊びコーナー 等



(5) COZY TOWN 開設準備

・「ともに学ばん・ともに遊ばん・ともに生きなん」をコンセプトに、令和4年10月からアルプラザ彦根において実施する事業の検討および準備を進めた。

【実施する事業案】

- 滋賀県レイカディア大学彦根キャンパス（米原校から移転）
- SLEC（しがレイカディアエクステンションカレッジ）
- 滋賀県介護・福祉人材ひこねセンター（長浜から移転）
- 滋賀県社会福祉研修
- 滋賀県ボランティアセンター
- つながり若者センター
- コージー文化サロン（バリアフリー映画会、作品展等）
- 子育てカフェ/子ども食堂/若者食堂

こーじー たうん

COZY TOWN

ともに学ばん・ともに遊ばん・ともに生きなん

実施場所：アルプラザ彦根（JR彦根駅前）

コンセプト well-being(身体的・精神的・社会的に健康で幸せな状態)の創出

	健康	つながりと居場所	キャリア	
事業内容	<p style="text-align: center;">アクティブシニアの学びと活動の場</p> <p>・滋賀県レイカディア大学彦根キャンパス （設置主体：滋賀県） 2年間 3学科 定員140名</p> <p>※すまじっく</p> <p>・SLEC（しがレイカディアエクステンションカレッジ） 1年目 6講座（各20名）定員120名 2年目12講座（各20名）定員240名</p>	<p style="text-align: center;">出会いとつながりの場</p> <p>・つながり若者センター 心理、ソーシャルワーカーによる相談と憩いの場（地域看護推進事業等も活用）</p> <p>・子育てカフェ 助産師・保健師による相談</p> <p>・子ども食堂/若者食堂</p> <p>・コージー文化サロン バリアフリー映画会、障害者アート、シルバー作品展、キッズアートフェスタなど</p> <p>・県民向け講座 ①介護入門講座 ②ボランティア入門講座 ③認知症講座 ④福祉用呉服</p> <p>・子ども食堂活動者サロン レイカディア大学祭</p> <p>・滋賀県ボランティアセンター（レイカディアジョブ推進センター） ボランティア活動したい人と活動場所のマッチング/買い物支援、芸能ボランティアなどのボランティア講座開催/ボランティア交流会</p>	<p style="text-align: center;">憩いと相談の場</p>	<p style="text-align: center;">介護と福祉のキャリア支援の場</p> <p>・滋賀県介護・福祉人材ひこねセンター （設置主体：滋賀県）</p> <p>・滋賀県社会福祉研修 （滋賀県からの委託事業）</p> <p style="margin-top: 10px;">* COZY TOWNとは ほっこりと居心地のよい空間を意味しています。</p>

2 コロナ禍における「ひたすらなるつながり」の具現化

縁支え合いの推進、縁・共生の場づくりを行うため、下記事業に取り組んだ。（一部抜粋）

(1) 緊急小口資金等特例貸付による生活困窮者支援

- ・新型コロナウイルス感染症の発生による収入の減少や失業等により、生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に、生活費に関する資金需要に対応するため特例貸付を実施した。
- ・市町社協との情報共有や連携の円滑化のため、各種会議や説明会を実施した。

【貸付件数および金額実績】

①緊急小口資金 5,366件 1,044,360,000円 (R2年度 14,135件 2,690,111,000円)

②総合支援資金 12,939件 6,768,820,000円 (R2年度 24,098件 12,748,346,000円)
特例総合計 18,717件 7,813,180,000円 (R2年度 38,233件 15,438,457,000円)

(2) 子ども若者ケアラー（ヤングケアラー）実態調査の実施

- ・生きづらさを抱える子ども若者支援の一環として、県内の状況を明らかにし、関係者とともに今後の実践につなげるため、子ども若者ケアラー実態調査を実施した。
- ・学校調査においては49.8%が「子ども若者ケアラーがいる」と回答しており、半数近くの学校において認識されている。
- ・民生委員児童委員への調査においては、「いる」が5.5%、「いない」が49.4%という回答結果であった。

【調査対象】

県内全ての小中高等学校：393件
要保護児童対策地域協議会：19件
相談支援機関：213件
市町の高齢、障害、生活困窮、子ども若者担当課
民生委員・児童委員：3381人

【調査内容】

子ども若者ケアラーの把握の有無、該当者数、性別、年代、気づいたきっかけ、家族構成、ケアの対象者・内容等

【実態調査報告書の作成】

内容 各調査結果、総括と考察、資料

(3) 女性のつながりサポート事業

- ・県から委託を受け、生きづらさを抱える女性に相談支援や居場所の提供を行うとともに、必要とされる方に生理用品の配布を行った。

【相談会実績】

県社協単独開催 計5回開催 相談者計13名
県イベントブース出展 計3回出展 相談者計12名

【居場所実績】

協力団体数 子ども食堂19か所、保育園4園、その他8団体
県社協において月1回程度、居場所「カモミールの部屋」を開催

【生理用品配布実績】

県立施設17団体、配布数2,250個
県立中高70校・専修学校3校・県立大学1校、配布数3,024個
子ども食堂・保育園・市町社協等協力団体64団体、配布数3,654個



(4) 滋賀の子どものほほえむ力サポート事業

- ・「はぐくみ基金」への指定寄付による、生活支援資金 特例貸付を利用されている世帯の子どもたちへ「学び応援金」「学び図書カード」の贈呈を行った。

・10万円の「学び応援金」

【対象者】

令和2年3月25日～令和3年4月19日に総合支援資金の特例貸付を合計6カ月間利用された世帯の中学1年生の子。

【金額】1世帯に現金10万円

【対象人数】232人

・3,000円分の「学び図書カード」

【対象者】

令和2年3月25日～令和3年4月19日までに1度でも総合支援資金の特例貸付を利用された世帯における小学生の子。

【金額】ひとりに図書カード3,000円分

【対象人数】2,140人

「学び応援金」への御礼のメッセージ（一部抜粋）

「今回の応援金はすごく助かります。この10万円は食費と子どもたちにお菓子を買わせて頂きます。」

「寄付者の方へは感謝しかありません。こういう支援がなければ、子どもの学費等が行き詰まり子どもの未来さえ失われてしまうところです。本当に感謝です。」

「中学入学にあたり、新しいものの購入が増えて出費がかさんでいました。部活動のジャージやパンツが買えます。大事に使わせていただきます。」

(5) 遊べる学べる淡海子ども食堂の推進

- ・子ども食堂の新規立ち上げ等を支援するとともに、感染防止対策研修や子ども食堂相互の交流および情報交換などを通じて、運営者がつながれる機会を設けた。

【立ち上げ資金の助成】8食堂

【ボランティア行事用保険の助成】47食堂

【感染防止対策研修】参加者51名

【子ども食堂つながりネットワーク SHIGA 研修・交流事業】2回開催 参加者計28名



(6) ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり事業

- ・ひきこもりに悩む当事者や家族の不安感を少しでも和らげ、また啓発を目的とした電話相談を実施した。

- ・保健福祉圏域におけるアウトリーチ支援体制およびネットワークづくり等を行った。

【ひきこもり電話相談】

甲賀・湖南ひきこもり支援『奏～かなで』との協働による定期電話相談（週1回）

毎週木曜日 12時～18時

相談件数 167件（新規69、継続74、調整23、再開1）

県内複数地域での一斉電話相談会

9機関8か所で2回実施 相談件数計51件

(7)「滋賀の福祉人」の施策提案と育成

①滋賀の福祉人のキャリア形成の施策提案

- ・滋賀ならではの共生社会実現に必要な、生きづらさを抱えた人の声を聴き、切れ目のない支援のために専門性を発揮できる福祉従事者の裾野を広げていくため、分野共通の「滋賀の福祉人研修」事業の創設を提案した。

②「ふく・楽CAFÉ」等による多様な人材層の参入促進

- ・現場職員と高校生、大学生等との交流「ふく・楽CAFÉ」の実施。

【実施回数・参加人数】16回実施 参加499人

- ・カイゴとフクシ就職フェア in しが

【実施回数・参加人数】20回実施 参加644人



③抱え上げない介護推進事業

- ・県内の福祉現場で働く職員の負担軽減や、ケアの質の向上に有効な抱え上げない介護の推進に向け、啓発、取組事業所の創成、取組の定着を目的とする研修を実施した。また積極的・継続的に実践している事業所を「抱え上げない介護推進事業所」として推奨した。

3 業務・事務改革の推進

- ・サーバーが更新時期を迎えたことを受け、新たなネットワークシステムの構築を図った。
- ・ドメイン参加、IT資産管理システムの導入、端末を外部の脅威から守るためのセキュリティ対策を実施することで、継続的かつ安定的な事務事業の実施を確保し、より適切な情報セキュリティ対策のための運用を行った。
- ・職員が情報セキュリティについて学ぶ機会の提供を行った。
- ・業務事務改革プロジェクトチームにより事務効率化を検討した。
- ・サイボウズ県社協マニュアルの作成、サイボウズの最大活用検討を行った。

【経営部門】

<総務グループ>

1 理事会、監事会、評議員会等の開催

(1) 理事会

<第1回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和3年5月6日(木)
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容

(1) 理事の補充選任に伴う、評議員会に提出する理事候補者の選任について

(2) 「理事の補充選任に伴う評議員会に提出する理事候補者の選任について」を議案として評議員会に提出することについて

<第2回>

開催日 令和3年6月1日(火)

会場 センター

- 議題
- (1) 令和2年度 事業報告(案)について
 - (2) 令和2年度 一般会計決算(案)について
 - (3) 令和2年度 生活福祉資金会計決算(案)について
 - (4) 第36期役員候補者の選定について
 - (5) 第35期評議員候補者の選定について
 - (6) 令和3年度 第2回評議員会(定時評議員会)の招集について
 - (7) 第2期評議員選任・解任委員候補者の選任について

<第3回>

開催日 令和3年6月22日(火)

会場 センター

- 議題
- (1) 会長、筆頭副会長及び副会長の選出について
 - (2) 令和3年度 生活福祉資金会計第一次収支補正予算(案)について

<第4回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和3年9月2日(木)
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容

(1) 評議員の補充選任に伴う、評議員選任・解任委員会に提出する候補者の選任について

<第5回>

・理事会の決議があったとみなされる日…令和3年11月17日(水)

・理事会の決議があったとみなされる事項の内容

(1) 令和3年度一般会計第一次収支補正予算(案)の承認について

(2) 令和3年度生活福祉資金会計第二次収支補正予算(案)の承認について

<第6回>

開催日 令和3年12月2日(木)

会場 センター

- 議題
- (1) 滋賀県社会福祉協議会定款の変更について
 - (2) レイカディア振興基金規程の改正について
 - (3) 評議員会の開催について(決議の省略による開催)

<第7回>

・理事会の決議があったとみなされる日…令和4年3月8日(火)

・理事会の決議があったとみなされる事項の内容

- (1) コロナ特例貸付制度債権管理業務委託にかかるプロポーザル実施の承認について
- (2) コロナ特例貸付制度償還金収納業務のプロポーザル実施の承認について

<第8回>

開催日 令和4年3月14日(月)

会場 センター

- 議題
- (1) 令和4年度 事業計画(案)について
 - (2) 令和4年度 一般会計収支予算(案)について
 - (3) 令和4年度 生活福祉資金会計収支予算(案)について
 - (4) 令和4年度 資産運用計画(案)について
 - (5) 令和3年度 一般会計第二次収支補正予算(案)について
 - (6) 令和3年度 生活福祉資金会計第三次収支補正予算(案)について
 - (7) 役員等賠償責任保険契約の締結および本会の保険料負担(案)について
 - (8) 役員の新規選任にともなう評議員会に提出する役員候補者の選任について
 - (9) 令和3年度 第4回評議員会の開催について

<第9回>

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和4年3月25日(金)
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 理事の補充選任に伴う、評議員会に提出する候補者の選任について
 - (2) 専務理事の選定について

<第10回>

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和4年3月29日(火)
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) コロナ特例貸付制度債権管理業務委託業者選定結果の承認について
 - (2) コロナ特例貸付制度償還金収納業務委託業者選定結果の承認について

<第11回>

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和4年3月31日(木)
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 筆頭副会長の選定について

(2) 監事会

<第1回>

開催日 令和3年5月25日(火)

会場 センター

- 議題
- (1) 事業報告等(理事の業務執行状況、法人の業務執行状況)の監査
 - (2) 計算関係書類及び財産目録の監査

(3) 評議員会

<第1回>

- ・評議員会の決議があったとみなされる日…令和3年5月21日(金)
- ・評議員会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 理事の補充選任について

<第2回>

開催日 令和3年6月22日(火)

会場 センター

- 議題
- (1) 令和2年度 事業報告について
 - (2) 令和2年度 一般会計決算について

(3) 令和2年度 生活福祉資金会計決算について

(4) 第36期役員の選任について

<第3回>

・評議員会の決議があったとみなされる日…令和3年12月17日(金)

・評議員会の決議があったとみなされる事項の内容

(1) 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会定款変更(案)について

(2) 令和3年度一般会計第一次収支補正予算(案)の承認について

(3) 令和3年度生活福祉資金会計第二次収支補正予算(案)の承認について

<第4回>

開催日 令和4年3月22日(火)

会場 センター

議題 (1) 令和4年度 事業計画(案)について

(2) 令和4年度 一般会計収支予算(案)について

(3) 令和4年度 生活福祉資金会計収支予算(案)について

(4) 令和3年度 一般会計第二次収支補正予算(案)について

(5) 令和3年度 生活福祉資金会計第三次収支補正予算(案)について

(6) 役員の選任について

<第5回>

・評議員会の決議があったとみなされる日…令和4年3月29日(火)

・評議員会の決議があったとみなされる事項の内容

(1) 理事の補充選任について

(4) 評議員選任・解任委員会について

<第1回>

開催日 令和3年6月17日(木)

会場 センター

議題 (1) 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 第35期評議員の選任について

<第2回> 決議の省略

・評議員選任・解任委員会の決議があったとみなされる日…令和3年9月10日(金)

・評議員選任・解任委員会の決議があったとみなされる事項の内容

(1) 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 第35期評議員の補充選任について

2 広報活動

(1) ホームページを活用した情報の発信

本会事業に関する特例貸付情報等の緊急や最新のお知らせ、研修等事業の情報はじめ、本会の法人理念、経営計画、財務情報、寄付情報等を広く情報発信した。

また、滋賀県社協法人化70周年を迎えるにあたって、利便性の向上(各事業サイトへのアクセス導線の見直し、SNSとの連動)、機能拡充(寄付ページの設置・寄付クレジットカード決済システムの導入など)を目的として、令和3年3月末リリースでのホームページ全面リニューアルを行った。(令和4年3月31日リリース済み)

令和4年度からの広報強化に備えた。

・アクセス数： 80,609件(2021.4.1~2022.3.31)

・ ページビュー数 : 369,708 件 (2021. 4. 1~2022. 3. 31)

3 滋賀県社会福祉協議会会長表彰 表彰式及び交流会の開催

(1) 表彰式

開催日 令和3年11月22日(月)

会 場 ホテルニューオウミ

<被表彰者>

- ・ 民生委員児童委員…5件
- ・ 社会福祉施設、社会福祉事業、老人保健施設を運営する法人の役員等…11件
- ・ 社会福祉施設、社会福祉事業職員、介護老人保健施設の現業職員…78件
- ・ 社会福祉協議会、社会福祉関係団体等の役員等…2件
- ・ 社会福祉協議会、社会福祉関係団体等の職員…6件
- ・ ボランティア(個人)…9件
- ・ ボランティアグループ…19件

<感謝>

- ・ 寄付 38件 法人または団体 32件 個人 6件
- ・ 地域福祉の推進に特に貢献している社会福祉法人または団体 2団体

なお、全国社会福祉協議会会長表彰には下記のとおり推薦を行った。

<本会から推薦を行い受賞された内訳>

民生委員児童委員功労者5名、社協・団体功労者8名、永年勤続功労者8名、
社会福祉協議会優良活動1社協

4 社会福祉法人・施設との協働

(1) 滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会による予算要望活動の実施

市町社会福祉協議会、施設協議会、関係福祉団体など関係者とともに喫緊の福祉課題について認識を共有し、令和3年度及び令和4年度に向けた社会福祉関係予算要望及び提案を協働で行った。

要望先	実施日	場所
自由民主党滋賀県議会議員団	令和3年6月11日(金)	滋賀県庁2階 議員室
滋賀県(健康医療福祉部長)	令和3年11月26日(金)	滋賀県庁 健康医療福祉部長室
チームしが 県議団	令和3年12月6日(月)	滋賀県庁2階 第5委員会室

(2) 社会福祉施設等関係団体との協働

「滋賀県児童成人福祉施設協議会」の事務局受託および「滋賀県社会福祉法人経営者協議会」の事務受託により各団体の運営に協力するとともに、事業が円滑に実施されるよう支援

した。

(3) 他団体が実施する助成事業への協力

- ①ダイトロン福祉財団障害者福祉助成審査への協力
- ②滋賀県遊技業協同組合福祉車両助成推薦への協力
- ③オージス総研から「はじまるくんパソコン」寄贈への協力
- ④大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」への協力
- ⑤24時間テレビ『福祉車両贈呈』への推薦協力
- ⑥滋賀トヨタ自動車株式会社・ネットトヨタ滋賀株式会社「福祉巡回車輛贈呈への推薦協力」
- ⑦「しがぎん福祉基金」の助成の取りまとめと審査協力
- ⑧財団法人河本文教福祉振興会助成事業への推薦協力

(4) 滋賀県善意銀行の運営

県域で実施される民間団体等の地域福祉の向上を図る活動への支援のため、「滋賀県善意銀行」として、寄付・預託の受入れと助成を行った。

①寄付・預託の受入れ

株式会社ツルハホールディングス・クラシエホールディングス 車椅子5台
滋賀日産自動車株式会社 車椅子19台
関西遊技機商業組合 車椅子5台、クッション5台
滋賀県宅地建物取引業協会 青年部会 車椅子10台

②助成

一般社団法人滋賀県保育協議会 100,000円
滋賀県レイカディア大学同窓会本部 100,000円
一般社団法人滋賀県ろうあ協会 女性部 50,000円
一般社団法人滋賀県ろうあ協会 高齢部 100,000円

5 「人材育成基本指針」の策定

基本方針に基づき、職階に応じた職務遂行能力の向上の為、下記の通り、新規採用職員に対する職場内部研修の実施、階層別研修等への参加により、職員の資質向上を図った。

(1) 令和3年4月入職職員対象研修

開催日 令和3年7月 1日(木)、令和3年7月 2日(金)
参加 8名

(2) えにし滋賀の福祉人研修

【新任期】

開催日 令和3年5月10日(月)、令和3年5月20日(木)
令和3年5月27日(木)、令和3年9月 1日(水)
参加 2名

【チームリーダー】

開催日 令和3年7月 7日（水）、令和3年7月12日（月）
令和3年7月26日（月）

参加 2名

【管理職員】

開催日 令和3年9月 7日（火）、令和3年9月16日（木）

参加 2名

(3) ハラスメント防止研修

【パワーハラスメント研修】

開催日 令和3年 4月22日（木）

参加 55名

【セクシャルハラスメント研修】

開催日 令和3年5月20日（木）

参加 57名

(4) えにしアカデミーにおける会長講話

開催日 令和3年10月15日（金）

参加 68名

(5) 部落解放研究第28回滋賀県集会

開催日 令和4年2月13日（日）

参加 3名

6 事務局ネットワークシステムの保守・管理

従来より使用するサーバーが更新時期を迎えたことを受け、新たなネットワークシステムの構築を図った。ドメイン参加、IT資産管理システムの導入、端末を外部の脅威から守るためのセキュリティ対策を実施することで、継続的かつ安定的な事務事業の実施を確保し、より適切な情報セキュリティ対策のための運用を行った。

7 長寿社会福祉センターの管理運営

高齢者の健康と生きがいづくりを推進し、明るく活力ある長寿社会づくりを実現することを目的・役割として設置されるセンターを、誰もが利用しやすい施設となるよう努めるとともに、その適切な管理運営に努めた。

また、設置者の滋賀県とともに、施設設備の経年使用に伴う老朽等へ計画的に対処した。

(1) 特定施設の利用実績

施設を、下表のとおり約58,600名の方に利用いただいた。

<特定施設の利用件数、利用者数の本年度累計>

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第1教室	調理室	第2教室
件数(件)	190	200	165	172	200	84	163
人数(名)	18,000	4,072	2,578	2,762	3,853	1,350	3,118
室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計	
件数(件)	251	264	238	234	240	2,401	
人数(名)	2,997	9,944	2,897	3,426	3,619	58,616	

(2) 特定施設の稼働実績

新型コロナウイルス感染症の影響があったが、対前年度比で15.8ポイント稼働率が増加し、施設の有効活用の目標61.1%を6.6ポイント上回る67.7%となった。

<特定施設の本年度稼働率>

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第1教室	調理室	第2教室
稼働率	63.8%	68.3%	56.7%	59.1%	68.3%	28.8%	55.4%
室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計	
稼働率	84.5%	87.1%	79.6%	78.5%	80.5%	67.7%	

(3) センター施設設備の保全と維持管理

センターが適切に機能するよう、その適正な保全と維持管理に努めた。

- ① 建築保全業務の一部委託実施
- ② 清掃業務の委託実施
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策にかかる清掃業務追加委託
- ④ 電気およびガスの供給にかかわる業務委託
- ⑤ 一般廃棄物および産業廃棄物の適法で適切な処分の実施
- ⑥ 機密文書の処分の実施
- ⑦ 敷地内除草作業
- ⑧ 本館棟非常灯バッテリー交換
- ⑨ 照明器具(蛍光灯・安定器)交換修理
- ⑩ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の実施(もしサポ滋賀の導入・各種消毒用機材の配備・昼食時の感染防止対策を館内放送・来館者用受付電話の設置など)
- ⑪ AEDのバッテリーパック・パッドの更改
- ⑫ 休養室排水管高圧洗浄実施、パイプ修理
- ⑬ テクノハウス前マンホール修理

- ⑭ ロビー天井部雨漏修繕
- ⑮ 本館屋上防止シート一部修繕
- ⑯ センター入口ロータリー舗装の修理
- ⑰ 福祉用具センター判定室天井の修繕
- ⑱ 福祉用具センター屋上防水シート一部修繕
- ⑲ 本館・テクノハウスセキュリティ装置交換工事
- ⑳ 敷地内枯れ木伐採
- ㉑ 体育室天井修繕
- ㉒ 女子トイレ便座除菌用アルコールディスペンサー設置
- ㉓ 本館エレベーターバッテリー交換
- ㉔ 2階役員室エアコン修繕
- ㉕ 福祉用具センターエアコン修繕
- ㉖ 非常用発電機疑似負荷試験実施 など

(4) 消防訓練の実施

緊急事態発生時の在館者等の安全確保並びに財産の保全と被害軽減のため、消防訓練を実施した。

実施日：令和3年7月2日（金）

令和4年1月27日（木）

(5) 消防設備に関する点検等の実施

- ①防火対象物点検資格者による防火対象物点検

点検日：令和4年1月20日（木）

- ②湖南広域消防局南消防署による警防調査

調査日：令和3年7月26日（月）

<修学・生活資金グループ>

1 生活福祉資金貸付事業・要保護世帯向け不動産担保型生活資金および臨時特例つなぎ資金貸付事業の実施

低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とする。

また、新型コロナウイルス感染症の発生による収入の減少や失業等により、生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に、当面の生活費に関する資金需要に対応するため特例貸付を実施した。

(1) 特例貸付決定額推移

(千円)

資金種類	令和2年度		令和3年度		合計 (R2/4~R4/3)	
	債権数	金額	債権数	金額	債権数	金額
緊急小口	14,135	2,690,111	5,366	1,044,360	19,501	3,734,471
総合支援	24,098	12,748,346	12,939	6,768,820	37,037	19,517,166
計	38,233	15,438,457	18,717	7,813,180	56,538	23,251,637

※ 実人数約 20,000 人

※ 緊急小口資金及び総合支援資金(初回)受付期間 R4/8 まで延長

※ 特例開始以降~R4/3 まで実績、全国比較(別添1)

- ・据置期間延長及び再延長通知を約 20,000 人へ送付
- ・各福祉事務所へのコロナ感染症生活困窮者自立支援金対象者の定期的な情報提供
- ・各市町社協向け、償還免除等についての説明会
 - 2021年9月3日 「市町社協常務理事・事務局長会議」ZOOM会議
 - ・特例貸付の期間延長・償還免除要件及び現状
 - 2022年2月24日 「市町社協事務局長会議・担当課長合同会議」ZOOM会議
 - ・特例貸付の償還業務に関するスケジュール
 - ・委託業務内容
 - ・各市町社協への事務費(委託料)について
 - 2021年3月25日 市町社協貸付担当者向け ZOOM 会議
 - ・償還免除規程について
 - ・償還免除手続きについて
 - ・償還開始について
 - ・今後のスケジュール等
- ・特例貸付債務整理・自己破産の状況

(千円)

特例(本則除く)	令和2年度	令和3年度
債務整理手続開始(件)	48	150
自己破産数(件)	21	44
自己破産債権額	4,050	19,700

(2) 生活福祉資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金・臨時特例つなぎ
貸付決定額推移（本則） (千円)

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
総合支援	5	1,629	0	0	0	0
福祉資金	79	336,911	58	39,899	60	30,774
緊急小口	91	7,887	30	2,809	23	2,210
教育支援	250	234,677	292	322,543	299	279,496
要保護世帯 不動産担保	1	5,957	1	4,396	3	17,868
臨時つなぎ	0	0	0	0	0	0
合計	426	284,061	381	369,647	385	330,348

(3) 滋賀県貸付審査等運営委員会（定例）の開催（毎月1回）

(4) 生活福祉資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金・臨時特例つなぎ
資金の債権管理

- ・借受人の状況把握と対応（居住地調査、督促、債務整理への対応、など）
居住地調査（年2回）、貸付残高のお知らせ（年2回）、督促状（年2回）
コンビニ払込票（毎月償還不能先）
- ・本則貸付債務整理・自己破産状況 (千円)

本則（特例除く）	令和2年度	令和3年度
債務整理手続開始（件）	46	41
自己破産数（件）	12	14
自己破産債権額	12,480	16,062

- ・令和3年度、自己破産債権職権免除 43件 22,216千円

(5) 生活福祉資金担当者研修会の実施

2021年8月26日 市町社協生活福祉資金実務者研修会実施

- ・貸付事業の流れとポイント
- ・貸付事業の制度概要と留意事項
- ・生活福祉資金の動向；償還について

(6) その他

長期滞留債権比率推移

長期滞留債権・・・償還（返済）開始以降、1年以上1度も償還（返済）がない債権 (千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
健全債権	1,768,336	1,813,578	1,935,347
長期滞留債権	1,519,858	1,523,296	1,507,649
貸付合計	3,288,194	3,336,874	3,442,996
長期滞留債権比率	46.2%	45.7%	43.8%

償還率推移

償還率 = $\frac{\text{年度内に実際に償還（返済）された償還金（償還実績額）}}{\text{年度内に本来償還（返済）されるべき償還金（償還計画額）}}$
(千円)

	令和元年度	令和2年度			令和3年度		
	償還率	償還計画額	償還実績	償還率	償還計画額	償還実績	償還率
健全債権	50.9%	275,964	163,577	59.3%	282,317	172,128	61.0%
長期滞留	1.9%	1,083,547	40,368	3.7%	1,127,280	26,016	2.3%
合計	11.7%	1,359,511	203,945	15.0%	1,409,597	198,144	14.1%

特例貸付実績（決定ベース）

（R4,3,31現在）

（円）

	令和2年度		令和3年度		累計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
緊急小口資金	14,135	2,690,111,000	5,366	1,044,360,000	19,501	3,734,471,000
総合支援資金	24,098	12,748,346,000	12,939	6,768,820,000	37,037	19,517,166,000
初回	12,245	6,474,636,000	5,287	2,751,260,000	17,532	9,225,896,000
延長	6,593	3,478,780,000	1,363	720,630,000	7,956	4,199,410,000
再貸付	5,260	2,794,930,000	6,289	3,296,930,000	11,549	6,091,860,000
総合計	38,233	15,438,457,000	18,305	7,813,180,000	56,538	23,251,637,000

特例貸付市町社協別実績（決定ベース）

（R4,3,31現在）

（件）

	緊急小口	総合初回	総合延長	再貸付	合計
大津市	4,239	3,825	2,045	2,834	12,943
彦根市	1,503	1,259	670	938	4,370
長浜市	2,258	2,272	1,074	1,511	7,115
近江八幡市	1,350	1,317	570	848	4,085
草津市	1,596	1,381	546	885	4,408
守山市	687	564	247	341	1,839
栗東市	950	725	295	456	2,426
甲賀市	1,432	1,042	365	528	3,367
野洲市	516	467	201	318	1,502
湖南市	1,422	1,369	609	874	4,274
高島市	307	279	132	173	891
東近江市	2,098	1,952	727	1,168	5,945
米原市	242	237	111	137	727
日野町	262	241	115	165	783
竜王町	85	58	25	36	204
愛荘町	326	346	142	202	1,016
豊郷町	108	106	47	71	332
甲良町	60	38	12	21	131
多賀町	60	54	23	43	180
合計	19,501	17,532	7,956	11,549	56,538

(特例貸付 都道府県別世帯数における債権数比率)

(千円)

都道府県名	開始～R4/3まで実績		世帯数 (R3,1,1現在)	債権数比率 (債権数/世帯数)
	件数	金額		
北海道	132,691	48,024,753	2,795,571	4.7%
青森県	9,384	2,982,262	594,459	1.6%
岩手県	10,567	3,311,392	530,800	2.0%
宮城県	46,067	16,028,768	1,016,612	4.5%
秋田県	4,291	1,131,130	425,698	1.0%
山形県	9,316	3,389,062	418,707	2.2%
福島県	33,286	12,060,936	792,044	4.2%
茨城県	71,765	27,334,708	1,272,765	5.6%
栃木県	55,027	20,483,245	848,315	6.5%
群馬県	64,177	23,016,273	862,320	7.4%
埼玉県	216,219	85,084,325	3,397,969	6.4%
千葉県	132,784	48,792,685	2,964,119	4.5%
東京都	630,916	244,507,920	7,341,487	8.6%
神奈川県	233,639	86,966,155	4,429,961	5.3%
新潟県	13,285	3,508,250	907,659	1.5%
富山県	14,018	4,327,573	427,568	3.3%
石川県	27,149	10,182,310	492,351	5.5%
福井県	11,273	3,955,250	299,489	3.8%
山梨県	23,209	8,625,220	365,136	6.4%
長野県	26,963	9,165,663	880,387	3.1%
岐阜県	30,620	9,018,596	837,617	3.7%
静岡県	67,129	13,928,963	1,612,307	4.2%
愛知県	150,658	47,260,364	3,369,137	4.5%
三重県	24,296	9,397,186	806,290	3.0%
滋賀県	56,538	23,251,637	596,167	9.5%
京都府	114,149	47,386,298	1,231,277	9.3%
大阪府	489,567	197,617,520	4,391,310	11.1%
兵庫県	199,654	79,734,599	2,574,868	7.8%
奈良県	32,978	13,288,708	601,195	5.5%
和歌山県	30,874	12,605,009	442,178	7.0%
鳥取県	11,317	4,563,568	239,170	4.7%
島根県	7,991	2,288,071	292,968	2.7%
岡山県	61,493	24,512,041	859,930	7.2%
広島県	38,517	11,410,409	1,329,862	2.9%
山口県	17,685	6,681,520	660,853	2.7%
徳島県	10,953	3,489,906	337,478	3.2%
香川県	18,640	6,211,615	445,747	4.2%
愛媛県	44,929	17,413,268	656,649	6.8%
高知県	27,779	10,994,975	351,413	7.9%
福岡県	204,908	74,828,000	2,473,308	8.3%
佐賀県	12,962	4,747,117	339,161	3.8%
長崎県	28,042	11,151,781	633,550	4.4%
熊本県	40,894	15,028,109	792,950	5.2%
大分県	38,638	15,234,126	541,588	7.1%
宮崎県	23,834	9,192,840	529,506	4.5%
鹿児島県	34,878	13,148,360	810,817	4.3%
沖縄県	143,141	56,868,879	676,643	21.2%

2 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施

児童養護施設や自立支援ホーム等を退所し、就職や進学する者が、安定した生活基盤を築き、円滑な自立が図れることを目的とし貸付事業を実施した。

(1) 児童養護施設退所者等自立支援貸付事業の状況

通常の貸付に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入が減少した進学者及び就職者に対し、生活支援費を増額及び新たに貸付

新規貸付決定額推移

(千円)

貸付事業名	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
生活支援費	3	4,950	5	7,200	5	5,350
家賃支援費	8	6,588	13	12,035	19	15,995
資格取得費	5	1,013	4	980	5	796
生活支援 (Jof)	-	-	11	2,460	6	3,000
家賃支援 (Jof)	-	-	1	420	2	768
計	16	12,551	34	23,095	37	25,909
児童養護貸付残高		11,197		27,680		55,180

(2) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の広報

児童養護施設、自立支援ホーム等に在籍する子ども及び職員に対し制度の周知・説明を行った。

① 児童養護施設等・里親等支援者向け説明会の実施

対象者	施設職員・里親	
開催日	令和3年6月29日	守山学園
	令和3年7月3日	里親対象説明会
	令和3年8月31日	さざなみ学園

② 児童向け説明会の実施

対象者	児童	
開催日	令和3年12月13日	守山学園武佐ホーム
	令和3年9月21日	里親里子対象
	令和3年12月7日	里親里子対象
	令和4年2月21日	里親里子対象
	令和4年3月17日	里親里子対象

3 保育士修学資金等貸付事業の実施

保育士の充足に資することを目的に、将来保育士として児童の保護等の業務に

従事しようとする者に修学資金、潜在保育士には保育料の一部貸付・就職準備金貸付、保育施設等には保育補助者雇上費貸付を実施した。養成施設を卒業後、滋賀県内の施設等において保育業務に一定期間以上（修学資金5年、その他2年等）従事した場合は貸付金が免除となる。

(1) 保育士修学資金等貸付事業の状況

保育新規貸付決定推移

(千円)

貸付事業名	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保育士修学	88	121,900	102	142,342	124	179,511
保育補助者雇上	1	3,425	6	57,439	2	9,561
保育料一部	91	22,378	62	11,467	74	16,735
就職準備金	44	16,921	42	14,674	51	19,039
子ども預かり	3	6	1	3	0	0
計	227	164,630	213	225,925	251	224,846
保育関連貸付残高	1,430,952		1,431,060		1,431,046	

令和3年度新規受付養成校実績

滋賀短期大学	26名	龍谷大学短期大学	10名
華頂短期大学	21名	京都文教短期大学	8名
滋賀文教短期大学	14名	その他	31名
びわこ学院大学短期	14名	合計	124名

(2) 保育士修学等資金返還免除推移

(千円)

返還免除	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保育関連全体	108	45,504	190	139,665	219	169,747

(3) 保育士修学等資金返還推移

(千円)

返還	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保育関連全体	626	35,887	523	42,651	479	27,607

(4) 保育士修学資金等貸付事業の広報

① 保育協議会との連携による求職者への情報提供・就職フェア参加

2021年5月9日

ビバシティ彦根

2021年5月16日

ポストンプラザ草津

2021年5月23日 琵琶湖ホテル

② 保育士就職説明会での情報説明会

2022年2月10日 ハローワーク大津

2022年2月17日 ハローワーク大津

③ 保育士養成校への制度説明（びわこ学院・滋賀文教短期・滋賀短期）

④ 県内の高校、保育所等への募集要項・チラシ配布

4 介護福祉士修学資金等貸付事業の実施

介護人材育成、確保及び定着を支援するため、介護福祉士養成施設に在学し、介護福祉士養成施設に在学し、介護福祉士の資格取得を目指す学生に対しての修学資金貸付事業を実施した。

令和3年度においては、福祉系高校修学資金・福祉系高校修学資金返還充当資金・介護分野就職支援金・障害福祉分野就職支援金の4つの貸付制度を新たに開始した。

これらの貸付金は、滋賀県内の施設等において介護等の業務に一定期間以上（修学資金5年、福祉系高校3年、その他2年）従事した場合は貸付金が免除となる。

(1) 介護福祉士修学等貸付の状況

介護新規貸付決定推移 (千円)

貸付事業名	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護福祉士修学	39	60,440	48	76,386	29	45,228
福祉系高校修学	-	-	-	-	15	4,920
実務者研修受講	159	24,487	132	20,811	147	24,714
介護人材再就職	6	1,200	20	6,920	17	5,823
介護分野就職支	-	-	-	-	15	2,828
障害福祉分野	-	-	-	-	4	654
計	204	86,127	200	104,117	227	84,167
介護関連貸付残高		501,570		521,743		541,595

令和3年度新規受付養成校実績

華頂社会福祉専門	11名	京都医療福祉専門	3名
びわこ学院大学短期	8名	その他	2名
京都福祉専門	5名	合計	29名

(2) 介護福祉士修学等資金返還免除推移 (千円)

返還免除	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護関連全体	72	37,357	156	62,402	207	64,177

(3) 介護福祉士修学等資金返還推移 (千円)

返還	令和元年		令和2年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護関連全体	239	8,008	134	7,886	193	9,661

(4) 介護福祉士修学資金貸付事業の広報

① 福祉系高校への制度説明

2021年8月23日 綾羽高等学校

2021年9月2日 県立長浜北星高等学校

② 各種介護研修実施機関への制度説明

2021年9月8日 滋賀県就労振興センター

2021年12月1日 滋賀短期大学

③ 県内の高校、施設事業者等への募集要項やチラシの配布

【地域福祉部門】

<縁企画・改革グループ><地域養護・はぐくみグループ>

(滋賀県ボランティアセンター)

(滋賀県災害ボランティアセンター)

(滋賀県権利擁護センター)

(えにしアカデミー事務局)

地域福祉推進

1 コロナ禍における生活困窮者支援の推進

(1) 重層的支援体制整備推進事業の推進

包括的・重層的支援体制を進めるため、市町や市町社協等対象の研修や調査を行った。

①相談支援機関等における複合的な課題への対応にかかる調査の実施

・調査対象

地域包括支援センター、障害者の相談事業所、利用者支援事業所、自立相談支援機関、市町社協、行政の重層的支援または地域共生担当課。計 310 機関。

・調査内容

対応ケースのうち複合的な課題を抱えるケースの割合、他機関との連携が必要なケースの割合、連携の際に感じる課題等。

・調査結果について

310 機関のうち 115 機関から回答があり、研修会にて公表を行った。

②重層的支援体制整備にかかる研修会の開催>

<1回目>

開催日：令和3年8月20日（金）

開催方法：オンライン開催

参加者：83名

【講師】厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室
支援調整係長 田代善行氏

テーマ：地域共生社会の実現に向けて

【報告】長浜市 社会福祉課 富永人志氏

長浜市社会福祉協議会 地域福祉課 山岡伸次氏

米原市社会福祉協議会 事務局次長 田中雄一氏

<2回目>

開催日：令和4年3月10日（木）

開催方法：オンライン開催

参加者：65名

【講師】同志社大 社会学部 教授 永田祐氏

テーマ：包括的な支援体制と重層的支援体制整備事業

【報告】長浜市社会福祉協議会 地域福祉課 田中裕子氏

高島市 社会福祉課 暮らし連携支援室参事 清水潤平氏

(2) 子ども若者ケアラー（ヤングケアラー）実態調査の実施

県内の状況を明らかにするため、子ども若者ケアラー実態調査を実施した。

①調査対象

- ・県内全ての小中高等学校：393校
- ・要保護児童対策地域協議会：19機関
- ・相談支援機関：213機関
- ・市町の高齢、障害、生活困窮、子ども若者担当課
- ・民生委員・児童委員：3381人

②調査内容

子ども若者ケアラーの把握の有無、該当者数、性別、年代、気づいたきっかけ、家族構成、ケアの対象者・内容等

③実態調査報告書の作成

構成：各調査の結果、総括と考察、資料

作成部数：1,200部

配布先：県・市町行政、市町社協、学校、縁特別会員、本会会員、公立図書館、民生委員・児童委員等。本会HPでも掲載。

(3) 生活困窮者支援担当者研修会（都道府県研修）の開催

生活困窮者自立支援制度における支援員等が求められる倫理と基本姿勢を学び専門職として必要なソーシャルワークの基本を習得することを目的に開催した。

<1日目>

開催日：令和3年6月10日（木）

開催方法：オンライン開催

参加者：44名

<2日目>

開催日：令和3年11月4日（木）

開催方法：オンライン開催

参加者：40名

【講師】同志社大学 社会学部 社会福祉学科 教授 空閑 浩人

<3回目>

開催日：令和3年11月8日（月）

開催方法：オンライン開催

参加者：40名

全体コーディネーター：野洲市 市民部次長 生水裕美

【講師】NPO法人パノラマ 代表理事 石井正宏 氏

滋賀県地域養護推進協議会 事務局長 中島円実

【実践報告】野洲市

【情報提供】滋賀県立精神保健福祉センター

（4）女性のつながりサポート事業

生きづらさや困難を抱える女性に相談支援や居場所の提供を行うとともに、必要とされる方に生理用品の配布を行った。

1. 相談支援

ア なんでも相談会の開催

【県社協単独開催】

①第1回

日時：令和3年10月29日（金）10:00～15:00

場所：LOCO Living（長浜市北船町3番24号 えきまちテラス長浜）

相談者：0名

②第2回

日時：令和3年11月12日（金）10:00～15:00

場所：A/PLACE（草津市西渋川1-23-1 エイスクエア内 SARA 東館2F）

相談者：1名

③第3回

日時：令和3年12月13日（月）13:00～17:00

場所：THE CALENDAR（大津市春日町1-3 ビエラ大津）

相談者：3名

④第4回

日時：令和4年1月19日（月）13:00～17:00

場所：THE CALENDAR（大津市春日町1-3 ビエラ大津）

相談者：3名

⑤第5回

日時：令和4年3月16日（水）10:00～15:00

場所：LOCO Living（長浜市北船町3番24号 えきまちテラス長浜）

相談者：6名（うち5名は座談会参加者）

【県イベント相談ブース出展】

①私の暮らしにフィットする働き方展

(草津会場)

日 時：令和3年11月2日(火) 10:00～16:00

場 所：クサツエストピアホテル(草津市西大路町4-32)

相談者：4名

(彦根会場)

日 時：令和3年11月17日(水) 10:00～16:00

場 所：マリアージュ彦根(彦根市里根町19-3)

相談者：5名

②G-NETしがフェスタ

日 時：令和3年11月29日(日) 10:00～15:00

場 所：滋賀県立男女共同参画センター(近江八幡市鷹飼町80-4)

参加者：3名

イ 居場所の提供

- ・居場所への協力団体向けのオンライン研修会を開催

日 時：令和3年10月7日(木) 14:00～15:30

内 容：事業説明、支援団体による事例報告、コミュニケーション講座

講 師：e. luar 代表 安藤悦子氏

事例報告：滋賀県母子福祉のぞみ会 坂下ふじ子氏

参加者数：8名(事例報告者含む)

- ・子ども食堂や保育園等の民間団体と協働で居場所を提供

協力団体数：子ども食堂19件、保育園4件、その他団体8件

うちR3年度開催分：子ども食堂9件、その他団体6件

- ・滋賀県社協において月1回程度、居場所(「カモミールの部屋」)を開催

2. 情報提供

- ①相談・支援窓口等を記載したチラシやカードの作成・配布

- ②ホームページやSNSを活用し、相談会や居場所の周知をおこなった。

3. 生活困窮者等への生理用品の配布

【県立施設での配布】

配布施設数：17団体

配布数：2,250個

【学校での配布】

配布学校数：県立中学校・高校70校、専修学校3校、県立大学1校

配布数：3,024個

【協力団体での配布】

子ども食堂、保育園、福祉施設、市町社会福祉協議会等

協力団体数：64 団体

配布数：3,654 個

2 縁創造実践の推進、普及

(1) 縁推進企画委員会の開催

<第1回>

開催日 令和3年8月20日(金)

会場 滋賀県社会福祉協議会 介護研修室

内容 縁センターより継続的に取り組んでいる事業に関する状況報告
今年度新事業に関する報告
今後の展開

<第2回>

開催日 令和3年10月15日(金)

会場 キラリエ草津 303会議室

内容 各事業の取組状況と課題の共有
次年度に向けた架け橋づくり

(2) ひたすらなるつながりフォーラムの開催

第40回滋賀県社会福祉学会シンポジウムにて開催(別掲)

(3) 縁特別会員の拡大、基金の増強

滋賀の縁創造実践センターの実践を支える新たな会員制度である「縁特別会員」制度の周知及び会員加入促進のため、広報パンフレットの作成・配布、広報誌やホームページ等での広報を行った。

①縁特別会員数

	団体	社会福祉法人	企業	個人	賛助	合計
会員数	16	83	0	19	2	120

②令和3年度の特別会費収入総額 5,523,200円(3月末現在)

③縁基金 16,406,935円(3月末現在)

(4) えにし認証活動の推進

①認証委員会

開催日 令和3年11月5日(金)

会場 滋賀県合同庁舎

内容 認証についての審議

②認証式

新型コロナウイルスの感染急拡大に伴い中止（令和4年1月18日（火））

認証団体数…38 団体

(5) 滋賀県社協 70 周年事業に向けた準備

記念誌の発行準備

発行時期：令和4年6月末

<誌面構成>

通史、事業紹介、滋賀県社協へのメッセージ、座談会、年表

<規格>

A4 サイズ、200 頁程度

(6) 広報誌「季刊ひたすらなるつながり」の発行

<第6号>

発行月 令和3年11月発行

部 数 4,000 部

特 集 福祉でつながるセーフティネット

<第7号>

発行月 令和4年3月発行

部 数 4,000 部

特 集 可能性をはぐくむ縁架け橋

(7) ホームページを活用した情報の発信

本会事業に関する特例貸付情報等の緊急や最新のお知らせ、研修等事業の情報はじめ、本会の法人理念、経営計画、財務情報、寄付情報等を広く情報発信した。

滋賀県社協法人化70周年を迎えるにあたりホームページ全面リニューアルを行った。

3 市町社協会長会、淡海フィランソロピーネット、関係団体等との協働による縁架け橋の推進

(1) 市町社協役員職員対象研修会の開催

①トップセミナーの開催

開催日 令和4年3月8日（火）

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加人数 33 名

内 容 「社協を取り巻く情勢と社協の使命～社協組織の活性化に向けて～」

講師：社会福祉法人全国社会福祉協議会 副会長 古都 賢一氏

②理事・評議員・監事研修の開催

開催日 令和3年9月8日（水）

場 所 県立長寿社会福祉センター/オンライン

参加人数 オンライン58人 会場7人

内 容 講義①「社会福祉協議会とは」

滋賀県社会福祉協議会 事務局長 谷口 郁美

報告「市町社協の活動について～米原市社協の実践から～」

米原市社会福祉協議会 事務局長 吉田 兼次氏

講義②「理事・監事・評議員の役割と監査のポイントについて」

滋賀県健康医療福祉部健康福祉政策課 指導監査係 主幹 馬淵 圭史氏

③市町社協新任職員研修の実施

<1日目>

開催日 令和3年7月19日（月）

場 所 キラリエ草津

内 容 ①講義・演習「ようこそ社会福祉協議会へ」

講師：大津市社協 事務局次長兼相談支援課長 山口 浩次氏

②「先輩職員からのメッセージ」

参加者 35人

<2日目>

開催日 令和3年12月7日（火）

場 所 米原地域福祉活動センター ゆめホール

内 容 ①「先輩職員からのメッセージ」

②演習「入職から12月までの振り返り」

参加者 20人

④コミュニティワーク基礎研修の開催

開催日 令和3年8月5日（木）

場 所 県立長寿社会福祉センター

内 容 ①講義Ⅰ「社会の情勢と地域福祉」

②講義Ⅱ「地域福祉と社会福祉協議会」

③演習Ⅰ「コミュニティワーク実践のプロセスの理解」

④演習Ⅱ「地域生活課題の把握から地域支援への展開」

講師：武庫川女子大学 文学部 教授 松端 克文氏

参加者 23人

⑤事務局長会議の開催

<第1回>

開催日 令和3年6月3日(木)

形式 オンライン

内容 ・特例貸付の制度変更について
・コロナ禍での福祉支援の取り組みについて

<第2回>

開催日 令和3年8月31日(火)

形式 オンライン

内容 ・地域養護の推進について
・ひきこもり支援事業について
・災害ボランティアセンターにかかる費用における国庫負担について
・8月13日からの大雨による支援状況について
・市町社協会長会における県への要望活動について

<第3回>

開催日 令和4年2月24日(木)

形式 オンライン

内容 ・特例貸付の償還に関するスケジュールについて
・特例貸付の償還業務における委託業務内容及び業務の流れについて
・各市町社協への事務費(委託料)について

⑥市町社協地域福祉部課長会議の開催

<第1回>

開催日 令和3年6月30日(水)

形式 オンライン

内容 ・各社協における重点事業について情報交換
・県社協からの情報提供

<第2回>

開催日 令和3年11月30日(火)

場所 県立長寿社会福祉センター

内容 ・地域福祉、ボランティアセンター事業における重点事業ならびに今後の方向性について

⑦市町社協地域福祉担当者会議の開催

<第1回>

開催日 令和3年10月26日(火)

場所 県立長寿社会福祉センター

内容 ・コロナ禍における地域福祉活動支援について

<第2回>※福島県沖地震により中止

(2) 淡海フィランソロピーネット事務局の運営

①副運営委員長・事務局書記会議の開催

3回開催（令和3年6月11日（木）、8月28日（木）、令和4年2月21日）

②運営委員会の開催

2回開催 令和3年8月20日（月）、10月27日（火）

③総会の開催

開催日 令和3年8月21日（金）

会場 オンライン

④会員研修の開催

<第1回>

開催日 令和4年1月14日（金） 15:00～16:30

場 所 オンライン研修（ZOOM） 参加者数：32名

内 容 講演「生きづらさを抱えた若者の現状と地域への期待」

～四つ葉のクローバー・地域養護推進協議会における実践～

講師 特定非営利活動法人四つ葉のクローバー理事長 杉山 真智子氏

滋賀県地域養護推進協議会 事務局長 中島 円実 氏

<第2回>

開催日 令和4年3月25日（金） 10:30～12:00

会 場 オンライン研修（ZOOM） 参加者数：19名

内 容 講演「人材不足時代におけるシニア人材の活用」

講師 キャリアグローイング千里 代表 小野・真一郎 氏

⑤企業・団体の社会貢献活動セミナー

開催日 令和3年9月16日（木）

会 場 県立長寿社会福祉センター 介護研修室およびオンライン

参加者数 49名（淡海フィランソロピーネット会員37名、会員外12名）

内 容 講演「アフターコロナにおける企業の社会的価値」

講師 京都大学 名誉教授 松下 和夫

(3) 重度障害者生活支援プロジェクト（県障害者自立支援協議会との共働）

・重度障害児者の入浴支援事業推進委員会の開催

①事務局会議の開催 2回

②推進委員会の開催 2回

開催日 令和3年4月22日（木）、令和4年2月2日（水）

・圏域の関係者へのアプローチおよび周知活動

①長浜米原しょうがい者自立支援協議会事務局会議への出席

開催日 令和3年9月1日（水）

②長浜米原しょうがい者自立支援協議会第4回運営委員会への出席

- 開催日 令和3年10月20日(水)
③共生型サービス普及のための研修会での報告(滋賀県老人福祉施設協議会との共催)
開催日 令和3年10月21日(木)

4 生活支援体制整備事業の推進

(1) 生活支援コーディネーター基礎研修の実施

開催日 令和3年7月29日(木) 10:00～16:00

場 所 男女共同参画センター

参加者 46名

内 容 事前課題「生活支援体制整備事業基礎知識」動画配信(県説明)

講義「地域福祉の推進における生活支援コーディネーターの役割」

講師 武庫川女子大学 文学部 教授 松端 克文氏

事例報告・グループワーク「生活支援体制整備事業の進め方と役割」

実践報告 彦根市 医療福祉推進課 関谷 幸子氏

彦根市社会福祉協議会 地域支援課

(1層コーディネーター) 森 恵生氏

(2層コーディネーター) 谷澤 健一氏

(2) 生活支援コーディネーター学習情報交換会の開催

【第1回】

開催日 令和3年12月15日(水)

形 式 オンライン

参加者 23名

内 容 「生活支援体制整備事業の取組状況について」(県医療福祉推進課)

話題提供 1層域の生活支援体制整備事業の推進について

大津市社会福祉協議会 森野道代さん

【第2回】

開催日 令和4年1月24日(月)

形 式 オンライン

参加者 23名

内 容 講義「生活支援コーディネーターとしての動き方と協議体について」

講師 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田昌弘氏

実践報告「2層コーディネーターとしての動き方と2層協議体について」

高島市社会福祉協議会 地域福祉課 宮田 早苗氏

東近江市社会福祉協議会 地域福祉課 上田 祐子氏 谷 和之氏

【第3回】

開催日 令和4年2月18日(金)

形式 オンライン

参加者 33名

内容 講義「地域における移動と外出を考える」

講師 NPO 法人全国移動サービスネットワーク関西 STS 連絡会/日常生活支援ネットワーク 柿久保 浩次氏

事例紹介「岡山県における外出手段の確保の手法について」

紹介者 移動ネットおかやま 代表 横山 和廣氏

実践報告「移動支援活動の立ち上げと生活支援コーディネーターの役割
日野町東桜谷移動支援事業「おたすけカゴヤ」の取り組みから～」

報告者 東桜谷おしゃべり会 代表 外山 章氏

移動支援分科会 会長 麻原 喜代次氏

日野町社協 生活支援コーディネーター 橋元 成子氏

(3) 生活支援体制整備事業推進会議の開催

生活支援体制整備事業推進会議を3回開催した。

開催日 令和3年6月28日(月)、10月22日(金)、
令和4年3月22日(月) ※中止→アンケートにて実施

場所 県立長寿社会福祉センター

5 滋賀県ボランティアセンターの運営

(1) 教職員介護等体験事業の実施

※令和3年度は代替措置適用が継続となり、体験は全面的に中止とした。

(2) しがボランティア(ホームページ)による広報啓発

訪問者数 57,785件

(3) 県民や関係団体への資機材の貸出

貸出機材	貸出件数	貸出台数
ビデオ・DVD	7	13
点字版	3	99
車椅子	21	164
白杖	1	4
アイマスク	1	6

6 民生委員児童委員研修（県及び大津市委託事業）の実施

(1) 人権研修

開催日 参集型 : 令和3年7月5日(月) 10:30~12:00
動画配信 : 令和3年8月6日(金) ~10月31日(日)
会場 県立長寿社会福祉センター、(動画配信) 各市町民児協、各自
内容 「コロナ禍の人権について」
講師 公益財団法人滋賀県人権センター 奥村 友子 氏
参加者 受講方法 : 参集型 100名、動画再生回数 1896回

(2) 民生委員・児童委員指導者(会長)研修

開催日 動画撮影 : 令和3年9月1日(水)
動画配信 : 令和3年10月8日(金) ~11月22日(月)
会場 各市町民児協、各自
内容 「コロナ禍におけるくらしや活動と地域福祉の課題」
講師 大谷大学文学部 教授 志藤 修史 氏
実践報告Ⅰ 彦根市城南民生委員児童委員協議会 会長 島路 勝彦氏
実践報告Ⅱ 竜王町民生委員児童委員協議会 会長 小林 江里子氏
動画再生回数 425回

(3) 主任児童委員研修

開催日 令和3年10月14日(木)
会場 男女共同参画センター“G-NETしが”
内容 講義「子ども・若者を取りまく現状~架け橋としての主任児童委員の役割とは~」
講師 特定非営利活動法人 こどもソーシャルワークセンター 理事長 幸重 忠孝 氏
参加者 129名

(4) 新任(1期目)民生委員・児童委員新任フォローアップ研修

開催日 動画配信 令和3年12月6日(月) ~令和4年1月31日(月)
DVD貸出 令和3年12月6日(月) ~令和4年3月31日(木)
会場 各市町民児協、自宅
内容 「民生委員・児童委員活動をとおしてのつなぐ私たちの未来」
講師 mottoひょうご 事務局長 栗木 剛 氏
登壇者 守山市速野学区民児協 会長 山本 なお栄 氏
守山市速野学区民児協 新任・主任児童委員 石原 慶子 氏
動画再生回数 1334回

7 滋賀県災害ボランティアセンターの運営

(1) 県災害ボランティアセンター運営協議会の開催

開催日 令和3年6月16日(水)

形式 オンライン

内容 ・令和2年度の取り組み報告について
・令和3年度の取り組みについて
・県総合防災訓練・県災害ボランティアセンター機動運営訓練について

(2) 県災害ボランティアセンター機動運営訓練の実施→中止

(3) 災害ボランティアコーディネーター基礎研修の開催

開催日 令和3年7月21日(水)

場所 滋賀県危機管理センター 1階会議室3・4

内容 『被災者主体・地元中心・協働』をめざした災害支援と災害ボランティアセンターについて」「時系列で災害ボランティアセンター運営の視点・活動を学ぶ」

講師 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do

代表 栗原英文氏

8 災害時要配慮者支援の推進

(1) 県災害時要配慮者支援ネットワーク会議の開催

【全体会議】

開催日 令和3年8月27日(金)

場所 長寿社会福祉センター(オンライン併用)

内容 実践報告「防災についての取り組み」

報告者 特定非営利活動法人 しが盲ろう者友の会

滋賀県盲ろう者支援センター

理事長 岡田 昌也氏/事務局 野中 美智子氏

情報共有「越境・連結を通じて協働・参画を実現しよう」

同志社大学 社会学部 社会学科 教授 立木 茂雄氏

『滋賀モデル』の概要と取組状況について」

滋賀県 防災危機管理局 主任主事 川田 幸寛氏

<コーディネーター>

コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEELDo 代表 /滋賀県災害ボランティアセンター運営協議会 アドバイザー 栗原 英文 氏

参加者 84名（会場参加9名、オンライン参加75名）

【圏域会議】

開催日 令和3年9月15日（水）

形式 オンライン

内容 「災害時の福祉的支援強化を通じて、災害にも強い地域づくりを進めよう！」

講師 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do

代表 栗原 英文氏

実践報告「熊本地震と豪雨災害等における活動について」

報告者 社会福祉法人肥後自活団大江学園 施設長 塘林 敬規 氏

参加者 31名

(2) えにしの日の取組み推進

- ・えにし週間期間 3月4日（金）～3月18日（金）
- ・取組み団体 13団体
- ・重点取組 個別避難計画を活用した訓練・学習会
コロナ禍における災害対策
子どもの防災教育

(3) しがDWATチーム員養成研修の開催

【第1回】

<南会場>

開催日 令和3年7月2日（金）

会場 県危機管理センター

参加者 32名

<北会場>

開催日 令和3年7月3日（土）

会場 ビバシティ彦根

参加者 29名

【第2回】

<南会場>

開催日 令和3年11月2日（火）

会場 県危機管理センター

参加者 15名

<北会場>

開催日 令和3年11月3日（水・祝）

会 場 ビバシティ彦根

参加者 11名

内 容 災害時における要配慮者の状況、DWA Tの機能と実際の支援展開を学ぶ

講 師 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表 榎原英文氏

くらしの学びサポートオフィス HumanBeing 代表 菅原清香氏

(4) しがDWA Tチーム員フォローアップ研修の開催

【第1回】

開催日 令和3年8月19日(木)

会 場 滋賀県危機管理センター

参加者 26名

内 容 報告「岩手県災害派遣福祉チームにおける取り組みについて」

報告者 社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会

(元岩手県災害派遣福祉チーム事務局)

地域福祉企画部 主任相談支援員 加藤 良太氏

【第2回】

開催日 令和3年10月13日(木)

形 式 オンライン

参加者 39名

内 容 報告「群馬県災害派遣福祉チームにおける取り組みについて」

群馬県社会福祉協議会ぐんまDWA T事務局 鈴木 伸明氏

(5) しがDWA Tチーム員訓練の実施

実施日 令和4年3月11日(金)

形 式 オンライン

参加者 31名

内 容 実践報告「被災地におけるぐんま災害派遣福祉チームの実践」

報告者 社会福祉法人 植竹会 理事長

特別養護老人ホームゆたか 施設長 島田 幸治氏

社会福祉法人 邑友会 南川 基治氏

ケーススタディ

<指導者>福祉防災サポートオフィス未来 代表 榎原英文氏

(6) チーム員登録状況

192名登録

【主な保有資格】

社会福祉士	介護福祉士	介護支援 専門員	保育士	精神保健 福祉士	管理栄養士
44名	97名	54名	33名	15名	9名

はぐくみ推進

1 子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの推進

(1) 子どもの笑顔のスポンサー活動の推進

①企業・団体および個人のスポンサー登録の推進

新規 団体 9 件、個人 24 件 計 523 件（企業・団体 419 件、個人 104 件）

②滋賀県内郵便局との包括連携協定に基づく取組み

子ども食堂フェスタへの参画

開催日 令和3年11月28日（日）

場 所 県立長寿社会福祉センター

内 容 缶バッチ作り、ぼすくまと記念写真、ペーパークラフト

③はぐくみ基金への寄付の推進

はぐくみ基金への寄付収納（物品等金額換算分を含む） 63,563,920 円

その他（収納外） 県からコロナ禍における子ども食堂支援（アルコール消毒液等）

④スポンサーからのサポート（提供）に係るマッチング

NPO 法人レイカディアえにしの会との覚書によるセブン-イレブン・ジャパンからの寄付
物品の仕分け（2回）

⑤生活協同組合コープしがとの包括連携に関する協定の締結

本会とコープしがそれぞれが有する人的・物的資源を有効に活用し、地域福祉の発展と共生社会への理解の向上に資することを目的に協定を締結した。

【協定締結式】

日 時 令和4年1月14日（金）

場 所 滋賀県庁 知事公館

出席者 滋賀県副知事 中條絵里氏

コープしが 理事長 白石一夫氏

(2) 通信の発行、ホームページ等による広報啓発活動の推進

①通信の発行

- ・「はぐプロ通信 vol. 3」 （令和4年2月発行）
- ・「子ども食堂だより vol. 5」 （令和3年7月発行）
- ・「子ども食堂だより vol. 6」 （令和3年9月発行）
- ・「子ども食堂だより vol. 7」 （令和4年1月発行）
- ・「子ども食堂だより vol. 8 フェスタ特集号」 （令和4年1月発行）
- ・「子ども食堂だより vol. 9」 （令和4年3月発行）

②ホームページ・SNS での広報啓発活動

Instagram の開設

月間の寄付情報の発信

不定期でのホームページ・Facebook・Instagram・LINE での情報発信

(3) LINE を活用した情報共有の仕組み構築と運用

子ども食堂実施団体用・スポンサー用それぞれの公式LINE の運用を開始。

(4) 「はぐくみ基金」への指定寄付による、生活支援資金 特例貸付を利用されている世帯の子どもたちへ「学び応援金」「学び図書カード」の贈呈

◆ 10万円の「学び応援金」

【対象者】

令和2年3月25日～令和3年4月19日に総合支援資金の特例貸付を合計6カ月間利用された世帯の、中学1年生の子。

【金額】1世帯に現金10万円

【対象人数】232人

◆ 3000円分の「学び図書カード」

【対象者】

令和2年3月25日～令和3年4月19日までに1度でも総合支援資金の特例貸付を利用された世帯の、小学生の子。

【金額】ひとりに図書カード3000円分

【対象人数】2140人

2 遊べる学べる淡海子ども食堂の推進

子ども食堂の開設支援、コロナ禍における感染防止対策研修、子ども食堂相互の交流、情報交換などを通じて、子ども食堂運営者がつながれる機会とした。

(1) 【70周年事業】みんな集まれ！遊べる学べる淡海子ども食堂フェスタ

開催日 令和3年11月28日（日）

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 501名（スタッフ含む）

内 容 子ども食堂カレーサミット、ステージコーナー、遊びコーナー 等

(2) 子ども食堂の感染防止対策事業

・感染防止対策の支援

開催日 令和3年6月2日（水）

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 会場 31名、オンライン 17名

内 容 「感染症対策研修会～最新の情報を知り、正しくおそれ、適切に対応しよう～」

(I) こども食堂感染症対策セミナー

「こうすれば できる。With コロナ時代のこども食堂」

講 師 特定非営利活動法人全国こども食堂支援センターむすびえ

湯浅 誠 氏・山縣 郁子 氏

(II) こども食堂エピソードブックある日のこども食堂

～“ちょっと気になる子”との関わり～について

講 師 山角 直史 氏

・コロナ禍におけるこども食堂活動事例集の作成

活動事例集は作成せず、こども食堂だよりに掲載することで活動状況を伝えた。

(3) こども食堂つながりネットワーク SHIGA 研修・交流事業

加入団体数 153 食堂（うち新規加入団体 13 件）

①こども食堂実践者研修会・②交流会の開催

第1回 開催日 令和3年9月6日（月）

開催方法 オンライン

参加者 15名

第2回 “お宝” エピソード・ワークショップ

開催日 令和4年1月7日（金）

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 13名

(4) 新規立ち上げこども食堂の支援

①開設準備講座の開催 ※コロナ禍により実施なし

②こども食堂立ち上げ資金の助成 8 食堂

開設支援助成審査会 5回（7月、9月、11月、1月、3月）

(5) こども食堂安心・安全促進事業（こども食堂保険加入促進事業）

ボランティア行事用保険 助成：47 件

ボランティア活動保険 助成：15 件

3 子ども食堂地域インフラ化の推進

(1) こども食堂図書室やこども食堂防災教室等、滋賀ならではのこども食堂の活動モデルづくり

①こども食堂図書室 10か所

・県内の実施状況についてアンケート

・アンケートに基づき、本と本棚（NPO法人レイカディアえにしの会）を寄贈

②子ども食堂防災教室

- ・子ども食堂運営者と子ども食堂開催時に、発災したこと想定した避難訓練に参加した。
- ・子ども食堂の防災の取組を視察し、県内子ども食堂へ周知した。

(2) 子ども食堂の複合的価値に関する調査研究(さくら・えにしプロジェクト)

「子ども食堂が生み出す価値」を可視化して、社会に適切に伝えていくことで、子ども食堂の取組をさらに広げていくことを目的に、特定非営利活動法人全国子ども食堂支援センターむすびえと共働で調査研究を行った。

①ワークショップ・ミーティング(zoom開催含む) 16回

②MSCワークショップ開発

ほっこりする物語・思わず人に伝えたくくなるような物語を「価値」として取り扱うための方法(=Most Significant Change=最も重大な変化)の動画の共働開発(概要編・実践編)

③価値を捉えるための「評価モデル」を作り、データを集めて検証するために、県内5団体の子ども食堂運営者に委員として、「滋賀県の子ども食堂の価値を考えよう」作戦会議を実施 5回

④子ども食堂地域ネットワーク団体全国交流会

開催日 令和4年2月5日

滋賀県の実践報告発表 「滋賀県の子ども食堂支援のセオリー構築の実践」

(3) 各地のお宝シェアしたい～情報連携プロジェクト～(お宝プロジェクト)

各都道府県子ども食堂中間支援団体で、全国での子ども食堂への特色ある地域の活動や毎月テーマの事例収集を行った。 12回

(4) 社協×むすびえ横断会議

各社協が取り組む子ども食堂との協働実践を共有し、地域での取組を全国に広げるための研修会に向けて会議を実施 6回

4 社会福祉法人等と共働したフリースペースの推進

社会福祉施設を活用した子どもの夜の居場所「フリースペース」の実施の支援を行った。

(1) フリースペース推進委員会の開催 ※コロナ禍のため未開催

(2) 他法人との共働によるフリースペース事業の推進 助成：7か所
14か所 うち新規開設 2か所
うちコロナ禍のため1年間活動休止 5か所
うち実施主体の変更 1か所

(3) フリースペース運営者・子ども支援関係機関の研修交流会

※コロナ禍のため未開催

コロナ禍におけるフリースペースの現状についてアンケートを実施

5 滋賀県保育協議会との縁架け橋共働プロジェクトに関すること

(1) 男性保育者プロジェクト企画会議の開催 1回

開催日 令和3年8月10日(火)
場 所 キラリエ草津

(2) 学習&情報交換会の開催

開催日 令和3年11月10日(火)
場 所 キラリエ草津

(3) 子ども食堂フェスタへの参画

男性保育者プロジェクト「保育・夢・男dyism」によるステージコーナー・遊びコーナー運営

地域生活支援

1 ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり事業の推進

(1) ひきこもり電話相談の実施

①甲賀・湖南ひきこもり支援『奏～かなで』との協働による定期電話相談(週1回)

実施曜日・時間 毎週木曜日12時～18時

相談件数 167件(新規69件、継続74件、調整23件、再開1件)

②県内複数地域での一斉電話相談会

コロナ禍の影響が長期化する中、ひきこもりに悩む当事者や家族の不安感を少しでも和らげ、また啓発を目的とし一斉電話相談を実施した。

9機関8箇所(2機関が新規参画)

実施機関: さわらび福祉会甲賀・湖南ひきこもり支援『奏～かなで～』、県社協、
大津市社会福祉協議会、彦根市社会福祉協議会、守山市社会福祉協議会、
甲賀市社会福祉協議会、野洲市社会福祉協議会、つながり応援センター
よろず(高島市社会福祉協議会)、虹の会

実施日(第1回) 令和3年9月9日(木)、10日(金) 相談件数33件

(第2回) 令和4年2月17日(木)、18日(金) 相談件数18件

③電話相談員向け研修(2回)

第1回実施日 令和3年9月3日(金)

内 容 「ひきこもり電話相談における基本の理解」

講 師 ひきこもり支援センター 萩尾宏子氏

参加者 22名(10機関)

第2回実施日 令和4年1月31日(月)

内 容 「つながるための聴き方～アドバイスより大切なもの～」

講 師 ふおりせ心理ストレス相談室 代表 宮脇 宏司氏

参加者 21名(10機関)

④電話相談から他機関連携へとつなげるための支援チーム会議の開催

・各圏域の関係機関への連絡調整

・ケース会議の開催(野洲市、栗東市)

(2) 保健福祉圏域におけるアウトリーチ支援体制づくり

訪問支援(アウトリーチ)を3圏域で実施した。

①甲賀圏域・甲賀・湖南ひきこもり支援『奏～かなで～』による個別支援の実施

支援対象者: 64人(新規相談ケース: 17件)

本人 訪問〔面談〕52件、訪問以外の面談28件、電話・メール39件
 家族支援 訪問〔面談〕27件、訪問以外の面談63件、電話・メール94件
 連絡調整 107件
 ケース会議 11件

②高島圏域 虹の会による個別支援の実施

支援対象者：8人（新規相談ケース：1件）
 本人 訪問〔面談〕37件、訪問以外の面談1件、電話・メール7件
 家族支援 訪問〔面談〕5件、訪問以外の面談1件、電話・メール3件

③湖東圏域（彦根市域）南彦根クリニックによる個別支援の実施

支援対象者：11人（新規相談ケース：5件）
 本人 訪問〔医師・看護師・PSW〕17件、訪問以外の面談15件、電話・メール4件
 家族支援 訪問〔面談〕28件、訪問以外の面談28件 電話・メール10件
 連絡調整 124件
 ケース会議 11件

(3) 保健福祉圏域におけるひきこもり支援関係者のネットワークづくり

①各保健福祉圏域における支援関係者のネットワーク構築

県ひきこもり支援センターと連携のもと、各圏域におけるひきこもり支援に関わるネットワーク会議に参加し、先進事例の情報収集および他圏域への情報提供を行った。
 また、事業の具体化にあたってのバックアップおよび関係機関の調整に加え、電話相談ケースにかかる支援調整および一斉電話相談参画機関の拡大を図った。

I. ネットワークづくり

ア. 各圏域のひきこもり支援に関わるネットワーク会議に参加

実践や課題の共有、情報・意見交換、1機関で抱えない連携した支援を実施するためのネットワークの構築および強化を図った。

- ・甲賀・湖南ひきこもり支援『奏一かなでー』 運営会議 3回
- ・高島市社会福祉協議会「つながり応援センターよろず」
つながり応援支援者ネットワーク会議 1回
- ・彦根市社会福祉協議会
ひきこもり支援ネットワーク会議 2回
アウトリーチ支援チーム会議 5回
- ・東近江圏域2市2町社協 ひきこもり支援にかかる連携会議 2回
- ・大津市社会福祉協議会・大津市保健所 ファジー会議 1回

イ. フォーラム開催支援等

- ・湖南圏域において実行委員会（草津・栗東・守山・野洲市の4市社協、民間団体1カ所、県社協）を設置し、フォーラムを開催
 内容 ひきこもり支援を考えるフォーラム「今、家族にできること」
 開催日 令和4年3月5日（土）
 会場 守山市民ホール
 参加者 55人

II. 地域における啓発、居場所・はたらく体験の場づくり等への支援 7圏域10カ所

ア. 大津市社会福祉協議会

- ・障害福祉サービス事業所および民間団体との協働による「リモティープロジェクト」（在宅就労の働き方実践モデル事業）の実施 参加者8名
- ・「湖ぼプロ」（ひきこもり経験のある若者主体ボランティア団体）の組織化
 および活動準備ミーティング 9回（参加者延べ25名）、ボランティア 活動1

回（参加者6名）

- イ. 守山市社会福祉協議会
 - ・ボランティア団体への助成（広報・啓発活動の強化）
 - ・湖南地域ひきこもり者支援フォーラム実行委員会によるひきこもり支援を考えるフォーラムの開催【再掲】
- ウ. 野洲市社会福祉協議会
居場所の新規立ち上げおよびはたらく体験の実施 5回（参加者延べ12名）
- エ. さわらび福祉会
甲賀市はたらく体験の実施 6回実施（参加者延べ15名）
湖南市カプロジェクトの検討・準備会議 7回実施（5機関・団体参画）
- オ. 彦根市社会福祉協議会
研修用DVD「深める編」作成 湖東圏域1市4町へ配布
- カ. 長浜市社会福祉協議会
居場所「えんかふえ」の強化 22回実施（参加者延べ64名）
「不登校・ひきこもりサポートブック」（湖北・湖東圏域）の作成
- キ. 米原市社会福祉協議会
ひきこもりに対する正しい理解と必要な支援を広げるためのフォーラム開催
内 容 「ひきこもりを理解する～ひきこもり経験者として伝えたいこと～」
開催日 令和3年11月28日（日）
会 場 滋賀県立文化産業交流会館
参加者 73人
- ク. 高島市社会福祉協議会
居場所「よろず畑」の実施 42回実施（参加者延べ282名）
- ケ. 虹の会
居場所「虹カフェ」 240回実施（参加者延べ722名）
はたらく体験 137回実施（参加者延べ137名）
家族茶話会 6回実施（参加者延べ33名）
ひきこもり支援情報誌「ゆるきち」の発行 年3回
- コ. あいとうふくしモール
 - ・つながるカフェ（滋賀ひきこもり女子会）
開催日 令和4年3月6日（日）
会 場 滋賀県婦人会館
参加者 5名
 - ・「中間的就労」座談会
開催日 令和4年3月29日（火）
場 所 愛東コミュニティセンター
参加者 33名
- ②支援機関・団体の連携を進めるためのひきこもり支援に関する社会資源マップの作成
県内の支援機関が活用できるプラットフォームの検討および試行実施
- ③市域、保健福祉圏域で開催される“なんでも相談会”における「ひきこもり相談」の
推進
圏域で実施される“なんでも相談会”においてひきこもり相談を実施 4圏域

(4) 県域および保健福祉圏域での家族支援の実施

誰もが利用しやすく、安心して参加でき、そして互いに共感し自己肯定感を感じることが
できる場として家族教室を実施した。

- ①滋賀県域 本会場とあわせてサテライト会場3カ所設置（オンライン活用）
 開催日 令和4年1月30日（日）
 会場 本会場（ライズヴィル都賀山）、サテライト会場（湖南市社会福祉センター、彦根市福祉センター別館、MIZU cafe COCCO）
 講師 NPO法人パノラマ 理事長 石井正宏
 協力機関 湖南市社会福祉協議会、さわらび福祉会、彦根市社会福祉協議会、高島市社会福祉協議会・虹の会

参加者 26名

- ②〔出張型〕東近江圏域 近江八幡市社会福祉協議会共催
 開催日 令和4年3月12日（土）
 会場 近江八幡市総合福祉センター ひまわり館
 登壇者 甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』、当事者の母親
 参加者 6名

(5) 働く場づくり「はたらく体験」、居場所づくりの推進

①県社協はたらく体験の企画実施

実施数 月1回 計12回

参加者 71人

内容 封入作業、車いす・福祉用具整備清掃、イベント準備、パソコン入力等の作業連携機関・団体
 滋賀県地域若者サポートステーション、大津市社会福祉協議会、滋賀県ひきこもり支援センター、支援センターこのゆびとまれ

②支援（サポート）機関による支援プラン会議の開催 12回

③県社協でのサロンづくり「PCスポット ポチポチいこか」の企画実施

実施数 月1回 計12回

参加者 46名

(6) 民生委員児童委員等ひきこもり支援に関する研修会の開催

社会的孤立状態にある当事者や家族と関わる機会がある民生委員や高齢分野の支援機関等を対象に、正しい理解を深め、地域で支えるための研修会を行った。

開催日 令和4年1月17日（月）、1月29日（土） 2日間

会場 県立長寿社会福祉センター

参加者 53人

講師 岡山県立大学 准教授 周防美智子氏
 滋賀県ひきこもり支援センター 萩尾宏子氏
 大津市社会福祉協議会 扇田宗親氏
 甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』主任相談支援員 北出篤嗣氏、当事者
 NPO法人パノラマ 理事長 石井正宏氏
 本会職員

(7) ひきこもり・働きづらさ支援推進委員会の開催

県域でのひきこもり支援関係者による情報・意見交換の場である、ひきこもり支援・働きづらさ支援推進委員会を3回開催した。

実施日・場所 令和3年6月18日（金） 県立長寿社会福祉センター（12名）

令和3年10月28日（木） 県立長寿社会福祉センター（12名）

令和4年3月2日（水） 県立長寿社会福祉センター（14名）

参画機関 彦根市社協、長浜市社協、野洲市社協、滋賀県社会就労事業振興センター、滋賀県地域若者サポートステーション、八身福祉会、甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』、虹の会、県ひきこもり支援センター、県障害福祉課

2 【70周年事業】滋賀ならではの地域養護・社会との架け橋づくり

児童養護施設等で暮らしている子どもたちに対して仕事体験を実施し、入所中から働くことへの理解を深めて、子どもの職業観を育成するとともに、企業や地域社会の社会的養護への理解を促進した。

(1) ハローわくわく仕事体験の実施

①協力企業等の開拓

協力企業・事業所数：173企業・事業所（新規開拓7企業・事業所）

②中高生の「ハローわくわく仕事体験」の実施

ア. 夏休み 参加者 6人（延べ 6人）、実施協力企業 6社

イ. 冬休み 参加者 5人（延べ 5人）、実施協力企業 5社

ウ. 春休み 参加者 3人（延べ 4人）、実施協力企業 4社

計：延べ 15人体験 15企業

③小学生の「工場・職場見学」の実施

ア. 夏休み 見学者 6人（延べ 6人）、実施協力企業 4社

イ. 冬休み 見学者 2人（延べ 2人）、実施協力企業 2社

ウ. 春休み 見学者 1人（延べ 1人）、実施協力企業 1社

計：延べ 9人見学 7企業

(2) 地域養護推進協議会とのタイアップによる架け橋セミナー等の開催

①就労体験に向けたキャリアアップセミナーの開催

ア. 中高生対象

開催日 令和3年6月13日（日）

会場 県立長寿社会福祉センター

内容 《すきなものビンゴ&お仕事マップ》

～夢！自分！発見！！ 自分を知り、社会を知り、自立する～

講師 NPO法人 くさつ未来プロジェクト 堀江尚子氏 他 11名

参加者 中高生 25人、職員 14人

※コロナ感染のため参加できなかった施設あり

イ. 小中学生対象 ※コロナ禍により実施なし

ウ. 小中高生対象

開催日 令和4年1月9日（日）

会場 オンライン

内容 THREE FLAGS（児童養護施設出身の3人組）と各児童養護施設をオンラインによる交流

参加者 小中高生 35人 職員 18人

②中学生向けプロフェッショナルセミナー ※コロナ感染状況により中止

③小中学生向け「しがの子ども仕事体験PARK」

開催日 令和3年8月4日（水）

会場 県立長寿社会福祉センター

内容 協力企業による仕事の紹介とミニ体験

参加企業 16企業

参加者数 小中学生 38人、職員 29人

④企業紹介動画の作成、活用

企業の協力（紹介動画の提供）を得てYouTubeチャンネルの開設等の方が有意義に活用されるであろうことから、本年度は実施せず。

⑤ハローわくわく仕事体験協力企業・事業所懇談会

開催日 令和4年1月31日（月）

会場 オンライン（県立長寿社会福祉センター、各企業および各児童養護施設等）

内容 1部 ハローわくわく仕事体験について 各分野からの発表
2部 5グループに分かれ意見交換

参加者 32人

（企業・事業所10人、県機関3人、児童養護施設職員・推進委員14人
地域養護推進協議会3人 事務局2人）

⑥子どものキャリア教育プログラムの効果を高めるため、生活を共にする大人に向けた研修
また自立支援に必要な関わりについての学びを深める場として実施。

ア. 第1回プレキャリアアップセミナー

開催日 令和3年5月31日（月）

会場 長寿社会福祉センター

内容 朝山あつこ氏（認定NPO法人キーパーソン 21代表）を講師に、
子供向けに実施するキャリアアップセミナーを職員の日常的な関わりによ
って、より効果的にすることと子どもの生き方を育み“引き出し、認め、
育てる”関わりについて学びを深める研修会

参加者 施設職員 28人、オンライン参加職員 7人、地養協職員 3人、草津KMP
スタッフ（子ども向け講師およびサポーター） 6人 計 44人

イ. 第2回プレキャリアアップセミナー

開催日 令和4年3月14日（月）

会場 龍谷大学社会学部6号館

内容 慶応義塾大学准教授 笠井賢紀氏、龍谷大学社会学部教授 山田 容氏を
講師に、自立支援をテーマに、参加者のアウトプットに重点を置いた交流
研修会

参加者 施設職員 10人、地養協職員 4人、若者支援団体職員 7人 計 21人
※コロナ感染者が出て1施設の職員が参加取りやめ。

⑦啓発活動 広報誌を3回発行

- ・「ハローわくわくだより」Vol. 1 令和3年 7月発行 : 約 230部
- ・「ハローわくわくだより」Vol. 2 令和3年 10月発行 : 約 50部
- ・「ハローわくわくニュースレター」Vol. 10 令和3年 10月発行 : 約 230部
- ・「ハローわくわくニュースレター」Vol. 11 令和4年 3月発行 : 約 230部

(3) 地域養護推進協議会との連携による退所後支援

①自立支援資金貸付制度を活用した相談支援事業（再掲）

児童養護施設を退所する際利用できる自立支援資金貸付について、利用検討の段階から施設職員や里親さん同席のもと相談の場を設けた。また、利用後の見守りの一機関として、現状報告や相談を受け、施設や里親さん、地域養護職員と共働で専門機関へ繋げたり、個別会議をしたりするなど相談支援を行った。

②「自立支援資金貸付制度・そらまめガイド・地域養護（相談・居場所）」巡回説明

- ・児童養護施設等・里親等支援者向け説明会の実施
- 対象者 施設職員・里親

開催日 令和3年6月29日(火) 守山学園
令和3年7月3日(土) 里親対象説明会
令和3年8月31日(火) ざなみ学園(鳥居本養護学校教員も含む)

・児童向け説明会の実施

対象者 児童

開催日 令和3年12月13日(月) 守山学園武佐ホーム

令和3年9月21日(火) 里親里子対象

令和3年12月7日(火) 里親里子対象

令和4年2月21日(月) 里親里子対象

令和4年3月17日(木) 里親里子対象

③「ほっとスポット」(つながる居場所)への助成

※コロナ禍で活動休止のため助成なし

3 滋賀県地域養護推進事業

社会的養護を経験した者をはじめ、生きづらさを抱えた若者に対し、福祉、就労、保健医療、教育および司法等の関係者や県民等が共働して生活支援、就労支援、居場所づくり等を行う滋賀県地域養護推進協議会の事務局事務の委任を受けた。

【滋賀県地域養護推進協議会の実績】

(1) 対象者に対する就労や住居および自立生活に関する個別の相談・支援

相談 就労相談 49回 医療関連支援 3回 法律相談支援 3回 のべ 445回(重複あり)

相談方法 来所 59回 訪問 86回 通信(電話等) 232回 計 377回

①個別ケース会議 計 66回

②進捗会議の実施 計 9回

各児童養護施設より自立支援員、アフターケア担当職員、SVとして参与2名が参加し、全体の進捗状況の確認、意見交換のため定例の進捗会議を行った。

(2) 対象者に関する「継続支援計画書」の作成

児童養護施設 令和4年3月全退所者 15ケース ※里親退所者未実施

(3) 地域養護を目的とする事業の企画および実施

①居場所づくり

開催日 毎月最終土、日の2日間実施

場所 マザーボード(守山市守山6丁目10-68)

参加者 若者延べ175名、支援者(地域住民等含む)112名 のべ287名

②応援企業と若者の交流の場を創出

若者食堂に地域住民、企業人も参加し若者と交流を持った。(随時)

お金の使い方等について専門家を講師に勉強会を開催 1回

③地域養護に関わる職員、児童養護施設職員、県内の若者対象の居場所事業を実践さ

れている団体職員の研修交流会の開催

1回

実施日 3月14日(月)

場 所 龍谷大学

講 師 笠井賢紀氏 慶應義塾大学法学部准教授

山田 容氏 龍谷大学社会学部教授

内 容 笠井氏のファシリテーション、山田氏の助言による、自立支援をテーマに参加者のアウトプットに重点を置いた交流研修会。

施設職員10名 地養協職員4名 若者支援団体職員7名

計21名参加

※コロナ感染者が出て1施設の職員が参加取りやめ。

④児童養護施設の職員等の研修

・ 参与による相談支援研修を2回開催したほか、必要に応じ個別ケースのSVとして協力を得た。

・ 進捗会議の中で構成機関、関係団体等の参加による意見交換、勉強会を3回実施。

(4) 広報・啓発

①キックオフイベントの開催

開催日 令和3年7月20日(火)

場 所 マザーボード

参加者 県、各団体、施設等 41名

②巣立ち応援イベントの開催

実施日 3月20日(月)

場 所 マザーボード2階

(昼の部：リアル開催、夜の部：オンライン配信にとる開催)

講師 くじはしなおこ氏 (キャリアコンサルタント)

橋本晴美氏 (ファイナンシャルプランナー)

内容 くじはし氏によるコミュニケーション講座(社会人として必要なもの、非言語的コミュニケーションなど)、橋本氏によるお金についての講座(給与明細、控除されるもの、保険、貯蓄など)を昼の部(参集型)、夜の部(オンライン)に分けて実施。

参加者 昼の部(集合研修) 若者8名 支援者4名

夜の部(オンライン) 若者4名 支援者3名

計19名参加

③広報誌の発行 2回

④ホームページの開設およびリーフレットの作成

4 地域福祉権利擁護事業の推進

(1) 新任職員・生活支援員新人研修の実施

<1日目>

開催日 令和3年6月8日(火)

場 所 県立長寿社会福祉センター、各社協(オンライン併用)

参加者 24名

内 容 講義1「権利擁護とは」

講 師 特定非営利活動法人成年後見センターもだま 所長 竹村直人氏

講義2「地域福祉権利擁護事業について」

講 師 本会職員

<2日目>

開催日 令和3年6月24日(木)

場 所 県立長寿社会福祉センター、各社協(オンライン併用)

参加者 29名

内 容 講義1「相談の基本を学ぶ」

講 師 甲賀市・湖南市障がい者基幹相談支援センター

相談事業アドバイザー 中島 秀夫 氏

講義2・グループワーク「知的障害ってどんな障害？」

講 師 彩社会福祉士事務所 代表 坂本 彩 氏

<3日目>

開催日 令和3年6月29日(火)

場 所 県立長寿社会福祉センター (参集型)

参加者 19名

内 容 講義1「精神障害者の理解と支援について」

講 師 医療法人周行会 精神障害者地域生活支援センター 風

精神保健福祉士 田中 好美 氏

講義2「地域福祉権利擁護事業について 援助の流れ」

講 師 本会職員

(2) 地域福祉権利擁護事業専門員会議の開催

<第1回>

開催日 令和3年8月20日(金)

場 所 県立長寿社会福祉センター

内 容 ・県社協からの情報提供

・事前アンケートにより設定したテーマについての意見交換等

①利用料の決定および更新について

- ②死後事務について
- ③クレジットカード、キャッシュレス決済サービスの利用に係る支援について
- ④支援時のリスクマネジメント、困難事例の対応について

参加者 15 社協 21 名

<第2回>

開催日 令和3年12月17日(金)

場 所 県立長寿社会福祉センター

内 容 死後事務についての勉強会

話題提供(実践報告) 福岡市社会福祉協議会、大津市社会福祉協議会

参加者 16 社協 25 名

(3) 契約締結審査会の開催

<第1回>

開催日 令和3年5月18日(火)

場 所 県立長寿社会福祉センター

内 容 守山市社会福祉協議会からの審査依頼 1 件

(4) 地域福祉権利擁護事業に対する相談支援等

①各市町社協の個別ケースへの相談への助言 33件

②運営適正化委員会が行う定期現地調査に同行 11市町社協 12か所

豊郷町、大津市、甲良町、米原市、長浜市、竜王町、湖南市、東近江市、高島市、野洲市、彦根市

(5) 権利擁護の推進

①圏域成年後見サポートセンター・権利擁護センターへの支援

ア 連絡会・委員会への出席

・長浜市成年後見・権利擁護センター(社協)運営委員会 2回

・彦愛犬権利擁護サポートセンター運営委員会 1回

・高島市成年後見サポートセンター(社協)運営委員会 1回

・米原市権利擁護センター(社協)運営委員会 4回(オンライン含む)

・成年後見センターもだま運営適正化委員会 2回

イ 市町・圏域のなんでも相談会(ひきこもり、成年後見制度)等への協力

湖東圏域(2回)、米原市(2回)、高島市(1回)

5 権利擁護相談、障害者110番事業の運営

高齢者、障害者の権利擁護にかかわる電話相談、面接相談に対応した。

相談対応状況 91件（詳細は下記のとおり）

(1) 一般相談件数

	相談受付 件数	相談者			相談方法			
		本人	家族・親 族・知人	関係機 関 他	電話	来所	訪問	その他
4月	7	6	1	0	7	0	0	0
5月	7	6	1	0	7	0	0	0
6月	9	7	2	0	9	0	0	0
7月	7	7	0	0	7	0	0	0
8月	6	2	0	4	6	0	0	0
9月	4	3	0	1	4	0	0	0
10月	1	1	0	0	1	0	0	0
11月	13	12	1	0	13	0	0	0
12月	12	12	0	0	12	0	0	0
1月	13	12	0	1	13	0	0	0
2月	5	5	0	0	4	1	0	0
3月	7	7	0	0	6	0	0	1
今年度合計	91	80	5	6	89	1	0	1

ア 知的障害者に関する相談	2件
イ 精神障害者に関する相談	48件
ウ 身体障害者に関する相談	10件
エ 高齢者に関する相談	21件
オ その他	10件

(2) 相談員のスキルアップ

滋賀県立男女共同参画センター相談員研修への出席 3回

(3) 広報・啓発

- ・ 障害のある方や高齢の方が、その人らしい生き方を自由に選び、安心していきいきと地域生活が送れるよう、暮らしや福祉、虐待など権利擁護に関するさまざまな相談に応じる窓口としてホームページで周知をした。
- ・ 障害者虐待防止啓発クリアファイルの作成、配布 5,000部

6 障害者虐待防止に関わる人材育成・体制整備の促進

障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援のために県域における関係機関や団体、関係者等の協力体制の整備や支援体制の強化を図った。

(1) 相談窓口担当職員研修会の開催

行政職員・虐待防止センター職員を対象に、法律の主旨や市町の権限・役割、相談通報を受けた際の流れ、具体的な対応方法等について理解を図った。

開催日 令和3年5月17日(月) 令和3年5月24日(月) 2日間

場所 県立長寿社会福祉センター

参加者 1日目：30名 2日目：21名

内容 講義1 「滋賀県の障害者虐待の現状と行政の役割について」

講師 滋賀県健康医療福祉部 障害福祉課 山口 雄大氏

講義2 「障害者の虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律について」

講師 しろまち法律事務所 弁護士 田嶋 明日香氏

講義3 「障害者の権利擁護について」

講師 認定特定非営利活動法人あさがお 中原 一隆氏

講義4 「障害者虐待防止対策における、市町村の権限と役割」

講師 認定特定非営利活動法人あさがお 中原 一隆氏

講義と演習「虐待対応の流れの実際について」

講師 大津市権利擁護サポートセンター 菅 浩一氏

しろまち法律事務所 弁護士 田嶋 明日香氏

認定特定非営利活動法人あさがお 中原 一隆氏

(2) 施設従事者向け研修会

障害福祉サービス事業所等の管理者やサービス管理責任者等を対象に、基礎知識や障害者の権利擁護に関する意識啓発、障害者虐待の防止のための組織・運営体制、障害特性にも配慮した支援方法について、研修を行った。

<南部会場>

開催日 令和3年11月29日(月)

場所 県立長寿社会福祉センター

参加者 170名(午前講義のみ参加 132名 うちオンライン 117名、会場 15名)

内容 講義1 「障害者虐待防止法の概要と近年における動向等について」

講師 滋賀県健康医療福祉部 障害福祉課 山口 雄大氏

講義2 「施設・事業所での虐待防止について」

講師 学校法人日本社会事業大学 福祉マネジメント研究科

准教授 曾根 直樹氏

講義と演習 「虐待防止のために組織として今後どのように取り組むのか」
(演習指導者) 厚生労働省：障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修修了者

○司会進行 大津市発達障害者支援センター かほん 小崎 大陽 氏

○ファシリテーター

障がい児者相談センターみゆう	越野 緑 氏
知的障害児者地域生活支援センター さくらはうす	久保多 信幸 氏
知的障害児者地域生活支援センター	藤井 洋平 氏
川相商事株式会社 滋賀支社	倉場 眞弓 氏
ワークステーション虹	山崎 秀樹 氏
放課後等デイサービス 風和々	野間 紀彦 氏
彦根学園	廣田 佑一郎 氏
社福) わたむきの里福祉会	酒井 了治 氏
甲賀地域働き・暮らし応援センター	杉本 敏彦 氏
放課後等デイサービス ゆにこ	増田 裕介 氏

<北部会場>

開催日 令和3年12月8日(水)

場 所 県立文化産業交流会館

参加者 97名(午前講義のみ参加 60名 うちオンライン 49名、会場 11名)

内 容 講義1、講義2 内容・講師ともに南部会場と同一(録画)

○司会進行 彦根学園 廣田 佑一郎 氏

○ファシリテーター

落穂寮	太田 正則 氏
ゆるり	大岡 賢至 氏
NPOぽぽハウス	石澤 英明 氏
東近江地域障害者生活支援センター れいんぼう	藤宮 祐憲 氏
社福)虹の会	川島 和久 氏
ひので作業所	橋本 昌則 氏
社福)八身福祉会	小島 滋之 氏
かいぜ寮	柚木 將敬 氏
藤美寮	杉原 清美 氏
湖西総合在宅サービスセンター ほろん	内藤 佑介 氏

(3) 研修企画会議

・滋賀県障害者虐待防止・権利擁護研修会(施設従事者向け)企画会議

日 時 令和3年6月10日(木)

場 所 オンライン会議

出席者 講師 曾根直樹氏

企画員 14名、県 2名、事務局 3名

- ・障害者虐待防止・権利擁護研修会(施設従事者向け)打合せ会議

日 時 令和3年11月19日(金)

場 所 オンラインおよび県立長寿社会福祉センター

出席者 企画員 18名、県 1名、事務局 3名

- ・障害者虐待防止・権利擁護研修会(行政職員・虐待防止センター職員向け)企画会議

日 時 令和4年2月24日(木)

場 所 オンライン会議

出席者 講師 田嶋明日香氏、菅浩一氏

県 1名、事務局 3名

(4) 国研修参加者の派遣調整

国研修参加者の調整を行い、研修参加者には施設従事者向け研修会において国研修内容を報告いただいた。

研修参加者 2名(大津圏域1名、湖西圏域1名)

7 第40回滋賀県社会福祉学会の開催

コロナ感染症の拡大に伴い、全オンライン開催とした。また、40回の記念回であることから、自由研究発表に加え実践報告も対象とした。

開催日 令和4年2月22日(火)

会 場 県立長寿社会福祉センター

参加者 289人(参加申し込みのほか、会場参加者)

開催方法 発表・報告者は会場、視聴はYouTubeを活用した全オンライン配信

(1) 自由研究発表 16題、実践報告 15題 全6分科会 31題

動画配信期間 令和4年2月22日(火)～3月11日(金)

動画再生回数	分科会1 高齢者福祉①	174回
	分科会2 高齢者福祉②/地域福祉①	167回
	分科会3 障害者福祉①	101回
	分科会4 障害者福祉②	68回
	分科会5 子ども・若者①	134回
	分科会6 地域福祉②/子ども・若者②	105回

(2) 学会シンポジウム・第3回ひたすらなるつながりフォーラム

テーマ 『40年を振り返る 滋賀ならではの福祉の価値・それを生み出す現場力』

シンポジスト

(福) グロー (GLOW)

オープンスペースレガートエリア総合施設長 角野 晃子 氏

(福) さざなみ学園

園長 辻 亨 氏

(福) わたむきの里福祉会

東近江圏域働き・暮らし応援センター“Tekitoo”センター長

野々村 光子 氏

コーディネーター

(福) 滋賀県社会福祉協議会

会長 渡邊 光春

動画配信期間 令和4年2月22日(火)のみ

動画再生回数 97回

(3) 奨励賞の授与

受賞者 4名

・「甲賀市在宅介護アドバイス事業の実施報告と介護者負担に及ぼす影響」

甲賀市水口医療介護センター 寺嶋 隆之 氏

・「障害者雇用を経験した中小企業家の学びについての研究報告」

びわこリハビリテーション専門職大学 作業療法学科 嶋川 昌典 氏

・「児童養護施設における愛着の育み」

社会福祉法人甲賀学園 児童養護施設 鹿深の家 神能 由佳 氏

・「防災と保健・福祉の連携による避難行動要支援者のための個別避難計画

作成の取組～誰一人取り残さない防災の実現をめざして～」

高島市健康福祉部社会福祉課 梅村 淳 氏

(4) 滋賀県社会福祉学会40回特別企画小冊子の発行

40回を記念し、これまで学会に携わっていただいた方に学会での思い出や日々の活動のなかでの思い・意義について寄稿いただき、小冊子としてまとめた。

発行 令和4年2月 350冊

テーマ 「実践・研究から学ぶ福祉の価値」

執筆者 学会実行委員・推進委員、自由研究発表 発表者 21名

8 研究誌「滋賀社会福祉研究第24号」の発行

発行 令和4年2月

掲載内容

- ・ 巻頭言 鎌田 昭二郎氏のことば
- ・ 実践研究論文
 - ・ 「地域養護」で子ども・若者の未来をつくる～滋賀県社会福祉協議会、滋賀県児童福祉入所施設協議会、四つ葉のクローバーの実践結合と発展～
(福) 小鳩会 小鳩の家 施設長 山田 宗寛 氏
- ・ 論文
 - 日本におけるソーシャルワークの現状・課題について
～障害者相談支援をふまえて～
(福) 西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり研究研修所 所長 北野 誠一 氏
 - ・ 第39回滋賀県社会福祉学会奨励賞レポート
 - ①眠りスキャン導入により見えたこと～睡眠と排泄の関係～
(福) 青祥会 介護老人保健施設 長浜メディケアセンター 西崎 清隆 氏
 - ②地域と支え合う事業所の活動
(福) 米原市社会福祉協議会 東部デイサービスセンターはびろ
北川 麻美 氏・加藤 麻美 氏
 - ③好きなものをきっかけとしたひきこもりからの卒業
京都芸術大学 松崎 雛乃 氏
 - ④新しい福祉のチカラ
～地域循環型未来食堂みんなの食堂の取り組みから見えてきたこと～
(特非) 芹川の河童 川崎 敦子 氏
 - ⑤地域で共に暮らす人々がつながり合う地域社会の構築
～かやぶき心における居場所づくりを通して～
(特非) 宅老所 心 中瀬 隆泰 氏
- ・ 書評
 - 結生 小坂 綾子 氏
『あっち側の彼女、こっち側の私』
性的虐待、非行、薬物、そして少年院をへて
(特非) あめんど 代表 恒松 睦美 氏
- ・ 資料
 - 第39回滋賀県社会福祉学会発表題一覧
令和3年(2021年)の社会福祉に関する主な動き

(滋賀県運営適正化委員会事務局)

1 運営適正化委員会の運営

福祉サービスに関する苦情解決と福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)の適正な運営を確保するため、次のとおり委員会の運営を行った。

(1) 選考委員会の開催

第11期運営適正化委員会委員の補充選任について

運営適正化委員会委員の2名の辞任にともない、選考委員において委員候補者を審査し、委員の改選をおこなった。

期 日 令和3年8月6日(金) ※書面開催

内 容 滋賀県運営適正化委員会第11期委員候補者案の審査

(2) 全体委員会の開催

開催日 令和3年10月22日(金)

会 場 草津市立市民交流プラザ

議 事 運営適正化委員会の活動状況、今後の活動についての意見交換 等

2 福祉サービスの苦情解決

福祉サービスに関する利用者等からの苦情解決を図るため、下記のとおり合議体を開催し、対応した。

(1) 苦情解決合議体の開催(6回開催)

	期 日	内 容
1	令和3年4月20日(火)	協議案件1件、報告案件6件
2	令和3年6月15日(火)	協議案件1件、報告案件4件
3	令和3年8月24日(火)	協議案件3件、報告案件9件
4	令和3年10月22日(金)	協議案件3件、報告案件7件
5	令和3年12月21日(火)	協議案件6件、報告案件9件
6	令和4年3月4日(金)	協議案件1件、報告案件8件

(2) 福祉サービスに関する苦情相談の受付状況(月別)

	苦情 受付	苦 情 解 決 の 結 果 (内 訳)							その 他 問合 せ等	合計
		相談 助言	紹介 伝達	あっ せん	通知	事情 調査	申入 れ	継続		
繰越	6	3	2	1					-	6
4月	3	1	2						34	37
5月	2		2						15	17
6月	6	2	4						16	22

7月	5	1	3		1				16	21
8月	5		4	1					15	20
9月	2		2						22	24
10月	5	1	4						13	18
11月	8		8						23	31
12月	3		3						9	12
1月	4	1	3						13	17
2月	2		2						22	24
3月	0								19	19
合計	51	9	39	2	1				217	268

※苦情受付件数は新規のみ計上

事情調査 0件
 申し入れ 0件
 あっせん 1件
 知事通知 1件
 虐待通報 0件

3 福祉サービスの苦情解決に関する広報・啓発等

利用者、社会福祉事業の経営者等に対して、福祉サービスの苦情解決の仕組みや運営適正化委員会を幅広く周知し、利用者側から苦情等を相談しやすい環境づくりを進めるために、広報啓発をおこなった。

(1) 県民向けの福祉サービスの苦情解決に関する広報啓発

県社協ホームページでの広報を実施するとともに、随時、リーフレットやポケットティッシュ等広報資材を県内社会福祉施設・事業者、行政、市町社協等へ配布した。

(2) 福祉サービス事業所巡回訪問

実施なし

4 地域福祉権利擁護事業の適正な運営の確保

市町社会福祉協議会が実施する地域福祉権利擁護事業の適正な運営を確保するため、運営監視を行い、運営監視合議体を開催のうえ対応した。

(1) 運営監視合議体の開催（4回開催）

	期 日	内 容
1	令和3年 7月27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度下半期の助言に対する対応状況について ・現地調査の報告と助言事項について ・下半期の運営監視の実施予定について
2	令和3年10月12日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の就任について ・上半期の助言に対する対応状況について ・下半期の運営監視について
3	令和3年12月10日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査の報告と助言事項について ・運営監視における課題等について
4	令和4年 1月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査の報告と助言事項について ・次年度の運営監視に向けて

(2) 定期現地調査の実施状況（11社協12か所実施）

	期 日	調査実施社協名
1	令和3年 6月23日(水)	豊郷町社会福祉協議会
2	令和3年 7月 1日(木)	大津市社会福祉協議会
3	令和3年 7月 9日(金)	甲良町社会福祉協議会
4	令和3年 7月15日(木)	米原市社会福祉協議会
5	令和3年 7月20日(火)	長浜市社会福祉協議会(木之本センター)
6	令和3年 7月20日(火)	長浜市社会福祉協議会(長浜センター)
7	令和3年10月28日(木)	竜王町社会福祉協議会
8	令和3年11月 2日(火)	湖南市社会福祉協議会
9	令和3年11月10日(水)	東近江市社会福祉協議会
10	令和3年11月16日(火)	高島市社会福祉協議会
11	令和3年11月24日(水)	野洲市社会福祉協議会
12	令和3年12月20日(月)	彦根市社会福祉協議会

えにしアカデミー

1 えにしアカデミー開学行事の実施

開催日 令和3年10月4日(月)

会場 琵琶湖ホテル 瑠璃の間

出席者 124名 うち16名はオンラインによる出席
うち塾生 29名(1名欠席)

滋賀県知事はじめ県、団体・職能団体、市町社会福祉協議会、フェロー、
塾生所属法人、県内社会福祉法人、本会理事監事

プログラム

- ・開学宣言 滋賀県社会福祉協議会 会長 渡邊 光春
えにしアカデミー 学長 上野谷 加代子
- ・各界の代表からの期待のメッセージ
滋賀県健康医療福祉部 部長 市川 忠稔氏
滋賀県保育協議会 会長 中西 健氏
滋賀県老人福祉施設協議会 会長 堤 洋三氏
滋賀県障害者自立支援協議会 会長 口分田 政夫氏
日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田 正樹氏
- ・塾生決意表明
塾生代表 滋賀県健康福祉政策課課長補佐兼係長 清水 潤氏
- ・塾生所属法人代表からの応援メッセージ
社福)幸寿会 特別養護老人ホームカーサ月の輪 施設長 日比 晴久氏
- ・シンポジウム
テーマ 「今だからこそ実践知と創造力を
～生まれてくる子どもたちに自覚者として残し伝える～」
シンポジスト 滋賀県知事 三日月 大造氏(えにしアカデミー名誉顧問)
東京大学先端科学技術研究センター 特任教授 湯浅 誠氏
滋賀県社会福祉協議会 会長 渡邊 光春
コーディネーター えにしアカデミー 学長 上野谷 加代子

2 プレ企画の実施

えにしアカデミープレ企画第6弾 滋賀の福祉人セミナー

テーマ 「越境する地域福祉実践のすすめ

～現場から包括的・重層的支援体制づくりを問う～」

with えにしアカデミーオープンキャンパス

開催日 令和3年8月11日(水)

会 場 県立長寿社会福祉センター

出席者 74名 うち61名はオンラインによる出席

プログラム

・えにしアカデミーでの学びとは

同志社大学 名誉教授 上野谷 加代子 氏 (滋賀県社会福祉協議会 理事)

・セミナー 地域共生社会をもう一度学ぶ

包括的・重層的支援体制づくりにおける支援のあり方をめぐって

同志社大学 教授 永田 祐 氏

・えにしアカデミー入塾相談会

相談対応

滋賀県老人福祉施設協議会 会長 堤 洋三 氏

大津市社会福祉協議会 事務局次長 山口 浩次 氏

同志社大学 名誉教授 上野谷 加代子 氏

・シンポジウム

テーマ 日本にふさわしいソーシャルワークを現場でどのように展開するか

シンポジスト 西宮市社会福祉協議会共生のまちづくり研究研修所

所長 北野 誠一 氏

広島国際大学 准教授 渡辺 晴子 氏

児童養護施設小鳩の家 施設長 山田 宗寛 氏

コーディネーター 同志社大学

教授 空閑 浩人 氏

・“これからに期待する”トーク×トーク

同志社大学 准教授 廣野 俊輔 氏

同志社大学 名誉教授 上野谷 加代子 氏

3 第1期塾生・聴講生

(1) 第1期塾生数 30名 (応募総数 35名)

(2) 聴講生 41名 (令和4年3月31日現在)

4 第1期プログラムの実施

(1) オンライン講義の受講状況

塾生のリアルタイム平均出席率 83% ※後日視聴を含めた出席率 100%

聴講生平均出席数 13名

(2) オンライン講義実施状況

日程	担当フェロー	講義テーマ
10月8日	空閑 浩人	福祉専門職に求められる価値観、人間力～ソーシャルワークの力～
10月8日	沖田 行司 空閑 浩人	えにしアカデミーで獲得する力とは何か～寺子屋教育から学ぶ～
10月15日	渡邊 光春	滋賀の福祉人のキャリア形成とえにしアカデミーへの思い
10月22日	原田 正樹	社会的包摂と福祉教育
10月29日	上野谷 加代子	共生社会の発展と地域福祉
11月5日	牛谷 正人	滋賀の福祉人の現場力。必要だから創るということ。
11月12日	湯浅 誠	多様性と社会的孤立、無縁といきづらさを克服する展望
11月19日	松端 克文	コミュニティと共に実践する社会福祉施設
11月26日	金子 秀明	見えないものを見る力
12月10日	新崎 国広	ボランティア・市民活動論
12月17日	野村 裕美	支援者が狭間を生まないように～ソーシャルワーカーのリーダーシップ、コンピテンシー～
1月7日	加山 弾	地域福祉とソーシャルワーク
1月14日	藤井 博志	地域住民、当事者の視点を大切にして地域に入る
1月28日	浦坂 純子	人生100年時代を生き抜くために①～ファーストキャリアを考える～
2月18日	永田 祐	包括的な支援体制の構築
3月18日	北野 誠一 清水 明彦 廣野 俊輔	ほんまもんの地域共生社会をどう展開するのか！
3月25日	鈴野 崇	福祉のコストと社会的価値

(3) ゼミ実施状況 ゼミ平均出席率 98%

・Aゼミ (15名所属)

日程	担当フェロー	授業内容
10月22日	上野谷 加代子	ゼミオリエンテーション
11月5日	中島 秀夫	問題意識のまとめ方
12月3日	野村 裕美	批判的思考
1月7日	北野 誠一	批判的思考
2月4日	樽井 康彦	実践研究の方法

・Bゼミ (15名所属)

日程	担当フェロー	授業内容
10月18日	上野谷 加代子	ゼミオリエンテーション
11月15日	金子 秀明	問題意識のまとめ方
12月20日	野村 裕美	批判的思考

1月17日	牛谷 正人	批判的思考
2月21日	伊達 平和	実践研究の方法

(4) 塾生・フェローとの交流会の実施

- 第1回 開催日 12月18日(土)
 場 所 The Calender (JR 大津駅前)
 参加者 塾生20名、フェロー5名
 内 容 ・ここまでの感想
 ・入塾前の今とでの自分自身の違い
- 第2回 開催日 3月19日(土)
 場 所 コロナ禍によりオンライン開催に変更
 参加者 塾生22名、フェロー8名
 内 容 ・修了論文テーマについて

5 広報活動

(1) えにしアカデミーホームページ開設と運用

- ・ホームページの開設 10月4日
 - ・塾生・聴講生・フェローの各専用ホームページ開設 11月1日
 - ・インフォメーションで講義内概要や塾生の感想など「アカデミー学びの報告」を行っている。
- ※専用ホームページで講義に関するお知らせの閲覧や過去の講義動画の視聴ができる

(2) ブックレットの発行

現時点では未発行。ホームページにおいて講義概略等を掲載している。

(3) えにしアカデミーのシンボルマーク制定

堤 洋三 氏にデザインいただき、パンフレット及びホームページで使用

(4) えにしアカデミーパンフレットの作成 1,500部

6 運営体制の構築

(1) 運営委員会の開催 5回

- 第1回 開催日 令和3年4月16日(金)
 議 題 ・開学までのスケジュールについて

- ・ 設立趣意書について
 - ・ 開学行事企画案について
 - ・ フェローの選任について
- 第2回 開催日 令和3年5月17日(月)
- 議題
- ・ フェローの選任について
 - ・ 設置要綱について
 - ・ 教育課程について
 - ・ プレ企画について
- 第3回 開催日 令和3年6月16日(水)
- 議題
- ・ フェローの選任について
 - ・ 塾生募集要項について
 - ・ 聴講生募集要項について
 - ・ パンフレットについて
 - ・ 塾生募集の方法について
 - ・ 修了生の称号について
 - ・ 講義日程について
- 第4回 開催日 令和3年7月13日(火)
- 議題
- ・ フェローの選任について
 - ・ フェロー会議について
 - ・ 広報活動について
 - ・ 開学行事について
- 第5回 開催日 令和3年8月23日(月)
- 議題
- ・ フェローの選任について
 - ・ 講義日程について
 - ・ 塾生の選考について
 - ・ 聴講生の募集要項について
 - ・ 開学行事について

(2) フェロー体制の構築

(五十音順)

氏名	所属名	役職名
新崎 国広	大阪教育大学教育学部	教授
生田 雄	社会福祉法人近江和順会レーベンはとがひら	施設長
上野谷 加代子	同志社大学	名誉教授
牛谷 正人	社会福祉法人グロー	理事長
浦坂 純子	同志社大学社会学部	教授
沖田 行司	びわこ学院大学	学長
尾崎 美登里	社会福祉法人甲南会せせらぎ苑	苑長
尾崎 史	認定特定非営利活動法人あさがお	理事長

金子 秀明	社会福祉法人さわらび福祉会	理事長
加山 弾	東洋大学社会学部社会福祉学科	教授
川井 太加子	桃山学院大学社会学部社会福祉学科	教授
北野 誠一	西宮市社会福祉協議会共生のまちづくり研究研修所	所長
空閑 浩人	同志社大学社会学部	教授
後藤 清	社会福祉法人慈照会カルナハウス	施設長
小松 理佐子	日本福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科	教授
小室 弘美	社会福祉法人おおみ福祉会におの浜保育園	元園長
斉藤 弥生	大阪大学大学院人間科学研究科	教授
佐藤 桃子	島根大学人間科学部	講師
渋谷 篤男	日本福祉大学福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学 科	教授
清水 明彦	社会福祉法人西宮市社会福祉協議会	副理事長
白澤 政和	国際医療福祉大学医療福祉経営専攻	教授
鈴野 崇	京都大学経済研究所先端政策分析研究センター	准教授
伊達 平和	滋賀大学データサイエンス学部	准教授
樽井 康彦	龍谷大学社会学部 現代福祉学科	准教授
辻本 哲士	滋賀県立精神保健福祉センター	所長
堤 洋三	滋賀県老人福祉施設協議会	会長
土井 裕明	日本弁護士連合会	副会長
中島 秀夫	甲賀市・湖南市障がい者基幹相談支援センター	相談事業ア ドバイザー
永田 祐	同志社大学社会学部	教授
野村 裕美	同志社大学社会学部	教授
原田 正樹	日本福祉大学社会福祉学部	教授
平田 篤州	福祉新聞社関西支局	支局長
廣野 俊輔	同志社大学社会学部	准教授
藤井 博志	関西学院大学人間福祉学部	教授
増野 隼人	社会福祉法人びわこ学園・障害者支援センター	相談課長
松端 克文	武庫川女子大学文学部	教授
南 多恵子	京都光華女子大学健康科学部	准教授
南 友二郎	桃山学院大学社会学部社会福祉学科	准教授
村井 幸之進	社会福祉法人サルビア会水茎の里	施設長
室田 信一	東京都立大学人文社会学部 人間社会学科	准教授
山縣 文治	関西大学人間健康学部 人間健康学科	教授
山口 浩次	社会福祉法人大津市社会福祉協議会	事務局次長
山田 宗寛	児童養護施設小鳩の家	施設長
山田 容	龍谷大学社会学部	教授
山本 朝美	社会福祉法人小鳩会	理事長
湯浅 誠	東京大学先端科学技術研究センター	特任教授
渡辺 晴子	広島国際大学健康科学部医療福祉学科	准教授

<レイカディア振興グループ>

1 【70周年事業】滋賀県レイカディア大学再編の検討

レイカディア大学再編にかかる具体的方策について、本会会長はレイカディア大学運営委員会委員長に対して令和2年10月に諮問を行い、委員長は会長に対して必修講座のカリキュラム例を作成する等を内容とする答申を行った。(令和3年7月28日)

・レイカディア大学運営委員会の開催

開催日 令和3年6月9日(水)

議題 答申「レイカディア大学の再編にかかる具体的方策について」

2 滋賀県レイカディア大学のニーズに応じた運営

高齢者に健康と生きがいづくりのための実践的な知識や教養、技能を修得する学習機会を提供し、県内の高齢者の自立と地域貢献に寄与するようレイカディア大学を運営した。

(1) レイカディア大学第42期、43期の開講

【 修業年限 】 2年間

【 入学資格 】 現に県内に居住する満60歳以上の者で、大学設置の趣旨を理解し、学習意欲に富み、通学および各種講義に出席しうる健康を有する者。

【 授業料 】 年間 50,000円(前期・後期 各25,000円)

【 学習内容・時間 】 対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

◆必修講座

学習領域	主な学習内容	学習時間(実績)	
		1年	2年
人間理解	福祉、人権、健康、保健、安全、仲間づくり、家族	[草津校] 60時間(15日) [米原校] 60時間(15日)	[草津校] 110時間(27.5日) [米原校] 110時間(27.5日)
郷土理解	自然、歴史、文化、芸術、自然保護、環境保全、街づくり、地域振興		
社会参加	政治、経済、社会、国際理解、生涯学習、ボランティア(地域活動体験学習等)、自己実現		
学校行事	オリエンテーション、入学式、卒業式、地域活動体験学習報告会、課題学習報告会、ニュースポーツ大会、大学祭、自主活動、ボランティアの日		

◆選択講座

学習領域	主な学習内容	学習時間（実績）		
		1年	2年	合計
園芸学科 [草津校] [米原校]	庭木・果樹の作り方、土壌・施肥管理、剪定、野菜・山野草の育て方、寄せ植え、その他	44時間×3クラス	88時間×3クラス	396時間 (99日)
陶芸学科 [草津校]	作陶、素焼、施釉、本焼、陶芸の科学・歴史、その他	44時間	88時間	132時間 (33日)
びわこ環境 学科 [草津校]	自然の姿・仕組み、環境汚染、環境に優しい暮らし（ゴミの軽減化、エコ生活等）、水質保全、里山保全、その他	44時間	88時間	132時間 (33日)
地域文化 学科 [草津校]	近江の歴史・文学・文化・自然、伝承技法、まちづくり、その他	44時間	88時間	132時間 (33日)
北近江文化 学科 [米原校]	北近江の歴史・文学・文化・自然、伝承技法、まちづくり、その他	44時間	-	44時間 (11日)
健康づくり 学科 [草津校] [米原校]	高齢期の症状理解、老化予防、健康維持・増進（栄養、生活習慣、趣味と健康、レクリエーション等）その他	44時間×2クラス	88時間×2クラス	264時間 (66日)
合 計		396時間 (99日)	704時間 (176日)	1,296時間 (324日)

【 学生数 】

(第 42 期生 令和 4 年 3 月 17 日現在)

(第 43 期生 令和 4 年 3 月末在)

	草 津 校						米 原 校						合 計							
	4 2 期 生			4 3 期 生			計			4 2 期 生						4 3 期 生			計	
園芸 A	19	13	1	23	16	42	29	1	23	13	0	26	16	49	29	0	91	58	1	
		5			7			12		0	9		1		7	3		16	4	28
園芸 B	21	14		23	17	44	31	0	0			0		0			44	31	0	
		6	1		6			12		1										12
陶芸	26	15	1	22	10	48	25	1	0			0		0			48	25	1	
		10			12			22		0										22
びわ環	11	9		19	13	30	22	0	0			0		0			30	22	0	
		1	1		5		1	6		2										6
地域/ 北近江	17	10	2	29	21	46	31	2	0			18	13	1	18	13	1	64	44	3
		4	1		8			12		1	4			4		0	4		0	16
健康	13	4		19	7	32	11	0	10	1	2	15	4	25	5	2	57	16	2	
		9			12			21		0	7				11			18	0	39
計	107	65	4	135	84	242	149	4	33	14	2	59	33	1	92	47	3	334	196	7
		35	3		50		1	85		4	16		1	22		3	38		4	123

※ 上段：男性、下段：女性。網掛けは、リカレントコース履修生数（外数）。

【 学生募集・入学状況（43期生）】

	草津校	米原校	計
定員	145人	70人	215人
応募者	163人	65人	228人
入学者	149人	61人	210人
入学/定員	102.7%	81.3%	97.6%

① 地域活動体験学習

地域活動体験学習では、在学中に地域活動（ボランティア活動）を実際に体験し、地域との関わりや繋がりを自らがつくり、地域の人々と共に課題に取り組む力を身につけた。

② 課題学習

学生自らが課題を見出し、その課題に向けた取り組みをグループで実践し、卒業後の活動へとつなげた。

・ 課題学習報告会

課題学習委員が主体となり企画・運営を行い、学年全体での報告会を実施。学びの成果を発表した。

開催日 草津校：令和4年2月4日(金)
米原校：令和4年3月3日(木)

③ 大学祭

コロナ禍での開催方法について学生が主体となり検討を重ね、運営方法を工夫し実施した。日頃の学びを展示・発表することを通じて、学習効果をより一層深めるとともに、仲間との交流を深め、学びを共有することができた。

[草津校] 名称 『学習成果展示会』
開催日 令和4年3月4日(金)～3月5日(土)
会場 県立長寿社会福祉センター
来場者数 約400名

[米原校] 名称 『大学祭』
開催日 令和3年11月17日(水)～11月18日(木)
会場 県立文化産業交流会館
来場者数 約60名

④ ボランティアの日

実践的な地域活動につながるよう学年単位でボランティア活動の企画運営を学生自らが行った。

[草津校] 42期・43期
開催日 令和4年3月10日(木)、22日(火)
会場 県立長寿社会福祉センター、びわこ文化公園
※22日は雨天により中止

内容 講義：「人生100年時代のボランティア考」
「地域社会とのつながりのきっかけは」
活動：落葉収集、運搬集積等

[米原校] 42期・43期
開催日 令和3年12月16日(木) ※2学年同時開催
会場 県立文化産業交流会館
内容 講話、文化産業交流会館周辺の清掃作業

(2) 公開講座の実施

レイカディア大学の学びを体験できる機会、認知度向上および卒業生の活躍の場として公開講座を実施し、あわせて大学説明会を行った。

① 公開講座・大学説明会

[草津校]

	開催日	内容	参加者数
1	6月11日(金)	明智光秀と琵琶湖 ～本能寺の変の原因は琵琶湖にある～ 講師：滋賀県文化財保護協会 普及専門員 大沼 芳幸	28人
2	7月9日(金)	想像力を高めて「もしも」に備える！ ～クロスロードゲーム～ 講師：しがNPOセンター 理事 西川 実佐子	22人
3	8月6日(金)	能へのいざない～能を通じて見る日本の心～	1人

[米原校]

	開催日	内容	参加者数
1	6月3日(木)	想像力を高めて「もしも」に備える！ ～クロスロードゲーム～ 講師：しがNPOセンター 理事 西川 実佐子	5人
2	6月10日(木)	福祉と芸術のあわいから生まれるもの 講師：社会福祉法人グロー 田端 一恵	2人
3	7月8日(木)	認知症の予防と理解 講師：瀬田川病院 院長代行 青木 浄亮	12人

② 学科見学会・学科説明会

[草津校]

	開催日	学科	内容	参加者数
1	5月26日(水)	園芸	樹木の夏期剪定(実習)① 樹木医 平塚 英史	7人
2	6月9日(水)		樹木と庭木の病虫害防除 樹木医 田上 知	12人
3	6月21日(月)		樹木の剪定(実習)② 樹木医 平塚 英史	9人
4	5月20日(木)	陶芸	【作陶】楽茶碗作り 陶芸家 神崎 秀策	5人
5	6月2日(水)		【作陶】組皿制作 (下絵付け・転写紙を使った加飾)	7人

			陶芸家 神崎 秀策	
6	7月14日(水)		【施釉・焼成】釉掛け・窯詰め 陶芸家 神崎 秀策	8人
7	5月26日(水)	びわこ環境	[学ぶ] 食とエネルギー(食の部)地球温暖化防止活動推進員 山本悦子	6人
8	6月16日(水)		[知る] 飲み水の歴史 びわこ成蹊スポーツ大学 名誉教授 青木 豊明	5人
9	7月14日(水)		[学ぶ] 「世界農業遺産」認定をめざして ～魚のゆりかご水田の取組～ 農政水産部農政課世界農業遺産推進担当	5人
10	5月25日(火)	地域文化	地域コミュニケーション論④ 滋賀県立大学 助教 上田 洋平	2人
11	6月8日(火)		紙芝居ってどんなもの ～伝えたいことをどのように表現しどう伝えるかを学ぶ紙芝居ってどんなもの ～伝えたいことをどのように表現しどう伝えるかを学ぶ日本折紙協会認定講師 坂 早百合	5人
12	7月20日(火)	地域文化	卒業生による学科説明会 草津校(地域文化学科)卒業生	8人
13	5月27日(木)	健康づくり	健康と住まい 「過ごしやすい住環境とは」 滋賀県立大学人間文化学部 教授 宮本 雅子	7人
14	5月31日(月)		介護保険制度について 制度概要、介護サービス・利用のしくみ 滋賀県介護福祉士会 会長 口村 淳	4人
15	7月29日(木)		高齢期のこころとからだの健康2 聖泉大学看護学部 准教授 安田 千寿	12人

[米原校]

	開催日	学科	内容	参加者数
1	5月12日(水)	園芸	春の家庭菜園 種まき・植え付け (実習) 元高校教員 松原 治夫	2人
2	6月1日(火)		樹木病虫害の診断と防除樹木医 田上 知	5人
3	6月22日(火)		盆栽の育て方と増やし方 挿し木・取り木・接ぎ木のやり方 能登川盆栽同好会 会長 大辻 敏雄	3人
4	6月8日(火)	北近江文化	卒業生による学科説明会①	7人
5	7月14日(水)		卒業生による学科説明会②	6人
6	5月21日(金)	健康づくり	健康と住まい 「過ごしやすい住環境とは」滋賀県立大学人間文化学部 教授 宮本 雅子	2人
7	6月9日(水)		健康と食・栄養2 口腔ケアの必要性と方法 小金沢歯科診療所 歯科衛生士 大谷 直美	0人
8	7月9日(金)		地域における健康づくりへのアプローチ2 地域サロン等を活用して 栗東市社会福祉協議会 健康運動指導士 飯田 忍宣	3人

(3) 短期講座の実施

	講座名称	日程	内容	参加者数
1	古都古都(ことこと)ウォーク	1月20日(木)	膳所地区 (膳所城跡、蘆花浅水荘)	25人
		1月28日(金)	石山地区 (唐橋、紫の道、石山寺)	13人

2	写真アカデミア ～シルバー作品展 準備講座～	2月24日(水) 3月3日(水) (2日間コース)	・写真の基礎知識と 撮影ポイント ・写真を作品に仕上 げるコツ	22人
3	健康ヨガ	3月1日(月) 3月2日(火) (2日間コース)	・健康寿命を延ばす ためのヨガ演習	12人
4	バルーンアート入門 講座	3月1日(火) (草津会場)	バルーンアート制作 実演	24人
		3月8日(火) (彦根会場)		25人

レイカディア大学の各種講座や関連事業に関係した高齢者に人気のテーマで短期講座を企画・実施した。

(4) 卒業後の地域活動に向けたサポートの強化

レイカディア大学の運営サポートを目的に設置されている卒業生の組織である滋賀県レイカディア大学サポートの会と協働し、より良い大学運営を推進した。

具体的にはコロナ禍における学生生活の支援・学生募集・大学祭の支援、レイカディア大学ホームページの運用管理、レイカディア大学だよりの発行と配布、選択講座助手、園芸学科の実習準備および学校行事にかかる校内環境整備、校外学習の引率サポートを実施した。

(5) 滋賀県レイカディア大学運営委員会の開催

開催日 令和3年6月9日(金)

内容 答申「レイカディア大学の再編にかかる具体的方策について」

3 レイカディア大学卒業生「地域の担い手」6,000人のストーリー発信

中高年者の生きがい・役割づくり・健康づくりについての啓発、普及を行うために、高齢期の社会参加や生きがいづくりの促進につながる情報および健康に関する情報を発信し、豊かで生きいきとした長寿社会づくりの意識を高めた。

(1) 同窓会、サポートの会との協働による卒業生の地域での活躍を発信

(2) 高齢者向け情報誌「レイカディア通信」の発行

・第9号：令和3年8月発行、3,600部発行

テーマ：アクティブシニアと子どもの居場所づくり

・第10号：令和4年1月発行、3,600部発行

テーマ：ICT活用で地域とシニアを元気に

(3) びわこシニアネットの運営及び情報発信

・ボランティアによるHP更新：毎週月・木曜日、ボランティア登録者数5名
更新回数 64回

・びわこシニアネットアクセス件数

13,545件（4～3月）37.1件（1日平均）

4 高齢者の健康と生きがいづくりの推進

高齢者のスポーツ・文化活動に親しむ機会や日ごろの生きがいづくり活動を発表する場の提供を通じて、また高齢者自らが地域活動に参画することにより、健康や生きがいづくりに対する意識の高揚を図るとともに、地域間・世代間の交流促進、社会参加の拡大を推進。

(1) ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会：25種目開催

【スポーツ等交流大会】開催：18、中止7 /25

種 目	実 施 状 況	会 場
卓 球	5月5日	YMIT サブアリーナ
テニス	4月16日	県立希望が丘文化公園テニスコート
ソフトテニス	5月5日	県立長浜ドーム
ソフトボール	4月18日 4月25日	大津市和邇市民運動広場
ゲートボール	中止	(大津市伊香立運動公園・スパーク山東)
ペタンク	5月21日	大津市和邇市民運動広場
三世代交流マラソン	中止	(近江八幡市立運動公園周辺、 水郷周辺コース)
剣 道	4月25日	草津市立武道館
グラウンド・ゴルフ	中止	(希望が丘文化公園GG場他)

太極拳	中止	(八日市文化芸術会館)
ソフトバレーボール	中止	(草津市立総合体育館)
サッカー	5月8日	ビックレイク(守山市)
ウォークラリー	5月23日	大津市内
オリエンテーリング	6月19日	サンシャインビーチ
弓道	5月16日	彦根市営弓道場
水泳	中止	(県立障害者福祉センター)
ラグビーフットボール	毎週土曜日練習	東レ周山グラウンド
ゴルフ	10月13日 11月8日	名神八日市カントリー倶楽部、ジャパンエース ゴルフ倶楽部
ダンススポーツ	6月20日	近江八幡市運動公園体育館
マレットゴルフ	5月4日 5月25日 6月12日	近江八幡市運動公園、草津防災センター
インディアカ	中止	(大津市勤労者体育センター)
ターゲットバードゴルフ	4月25日	杣川河川敷コース
バウンドテニス	7月4日	(大津市和邇市民体育館)
スポーツウエルネス 吹矢	中止	(野洲市総合体育館)
パドルテニス	4月18日	佐川急便体育館

【文化等交流大会】 開催：4

種 目	実施状況	会 場
囲 碁	5月1日	彦根東高校第2別館
将 棋	4月4日	コミュニティーセンターやす
俳 句	10月30日	大津市勤労福祉センター
健康マージャン	5月9日	草津市立市民交流プラザ

【びわこ交流大会】 開催：1

種 目	実施状況	会 場
ボート	5月29日	県立琵琶湖漕艇場

【次年度大会説明会】

※コロナ感染症の影響により中止

(2) 全国健康福祉祭岐阜大会へ滋賀県選手団の派遣

① 滋賀県選手団結団式・全体説明会

※コロナ感染症の影響により中止

② 第33回全国健康福祉祭 岐阜大会

(当初予定)

開催日 令和3年10月30日(土)～11月2日(火)

開催地 岐阜市ほか

※コロナ感染症の影響により中止

(3) 第30回シルバー作品展の開催

・出品全作品の展示

開催日 令和3年5月29日(土)～6月3日(木)

会場 県立文化産業交流会館 イベントホール

作品数 221点(日本画22点、洋画61点、彫刻31点、工芸31点、書25点、
写真79)

来場者数 618名

・入賞(佳作を除く)作品の展示

開催日 令和3年6月5日(土)～6月10日(木)

会場 イオンモール草津 イオンホール

来場者数 692名

・審査会の開催

開催日 令和3年5月26日(水)

会場 県立文化産業交流会館

内容 入賞(シルバー作品大賞、特選、後援団体賞、佳作)、表彰(高齢者賞、最高齢者賞)の審査

・表彰式の開催

開催日 令和3年5月29日(土)

会場 県立文化産業交流会館

対象 入賞(シルバー作品大賞、特選、後援団体賞、佳作)、表彰(高齢者賞、最高齢者賞)の審査

・実行委員会の開催

2回開催(令和3年7月1日、令和4年2月8日)

・イオンモール草津、県立文化産業交流会館(米原市)での開催に加え、展示会の動画配信を初実施

5 長寿社会づくりに関する調査および研究の実施

令和2年度に実施した「滋賀県レイカディア大学卒業生生活動状況調査等」を関係者と共有するとともに、レイカディア大学講座企画等の参考とした。

【人材部門】

<介護・福祉人材センター>

1 多様な人材層の参入促進（「滋賀の福祉人」の確保）

（1）現場職員と高校生・大学生等との交流「ふく・楽 CAFE」の開催

- ・学生等が職員との対話を通じて介護・福祉職場の仕事の魅力、やりがい、多様な働き方など「ふくしの仕事と楽しく生きる」ことの実感を、介護・福祉職場への理解を深めるとともに、進路選択の参考、働く意欲の高揚を図るために「ふく・楽 CAFE」を実施した。
- ・令和3年度は、期初から学校への提案を強化したほか、実施実績のない学校へも訪問、提案し「ふく・楽 CAFE」の実施につなげた。

①高校での「ふく・楽 CAFE」

センター区分	開催日	会場	学年 人数	講師
南部	令和3年 6月10日(木)	綾羽高校	2年、3年 40人	八起会、六心会
	令和3年 8月11日(水)	綾羽高校	1、2、3年 65人	よつば会、近江ちいろば会、湖青会、幸寿会、野洲慈恵会
	令和3年 10月19日(火)	日野高校	2年 37人	りゅうおう、慈照会、小羊会、仁生会、日野友愛会
	令和3年 10月21日(水)	綾羽高校	2年 21人	滋賀県介護・福祉人材センター
	令和3年 10月22日(木)	滋賀学園高校	2年 19人	グロー、恒仁会、甲賀学園
	令和3年 10月26日(火)	滋賀学園高校	3年 9人	八起会、六心会
	令和4年 2月4日(金)	八幡高校	2年 21人	びわこ学園、真寿会、ひかり会
湖北	令和3年 9月27日(木)	彦根総合高校	2年、3年 42人	湖東会、滋賀県介護・福祉人材センター
合計			254人	

②大学等での「ふく・楽 CAFE」

センター 区分	開催日	会場	参加者数	備 考
南部	令和3年 7月7日(水)	ルネス学園	2年 23人	近江和順会
	令和3年 9月18日(土)	びわこ成蹊ス ポーツ大学	3年 61人	湖国福祉会
	令和3年 10月12日(火)	びわこ学院大学	1年、2年 34人	心暖まる会、誠光福祉会、 近江薫風会、湖北会、甲南 会、ゆたか会、恒仁会
	令和3年 12月1日(水)	滋賀短期大学 (留学生対象)	1年 17人	滋賀県国際介護・福祉人材 センターと共に実施
	令和4年 1月14日(金)	ルネス学園	1年 46人	甲賀会
合 計			181人	

③地域での「ふく・楽 CAFE」

センター 区分	開催日	会場	人数	講 師
南部	令和3年 6月25日(金)	大津市勤労者福祉 センター	30人	聖優会、美輪湖の家大津、 湖国福祉会
	令和3年 11月4日(木)	大津市勤労者福祉 センター	30人	滋賀同仁会、真盛会、若竹 会、宅老所 心、雪野会
湖北	令和3年 10月30日(土)	長浜市神照まちづ くりセンター	4人	滋賀県障害児協会
合 計			64人	

(2) 福祉職場へのインターンシップ等の実施

①高校生向け「職場体験」

- ・高校生を対象に、介護・福祉職場での体験を通して、具体的な仕事の内容、魅力ややりがい、実際の職場の雰囲気などを知ってもらうことにより、介護・福祉分野への理解を深めるとともに、介護・福祉分野への進路選択の意欲を高める契機とすることを目的として実施した。

体験受入登録事業所数	事業所 48 (高齢 43、障害 4、児童 1)
体験実施期間	令和3年5月13日(木)～令和4年3月11日(金)
体験者数	12人(南部9人、湖北3人)

②大学生・社会人向け「助成金付きインターンシップ」

- ・介護・福祉の仕事に関心のある方に職場の雰囲気や仕事内容を知ってもらう機会を提供し、就労意欲を喚起するとともに、体験終了時にはセンター職員が同席して体験の振り返りを行い、体験での気づきや今後の希望等を確認のうえ、就労希望者には継続的な支援を行った。

体験受入登録事業所数	事業所 55 (高齢 45、障害 7、児童 2、その他 1)
体験実施期間	令和 3 年 5 月 13 日 (木) ~ 令和 4 年 3 月 11 日 (金)
体験者数	47 人 (南部 45 人、湖北 2 人)
うち就職者	8 人 (南部 8 人、湖北 0 人)

(3) オンラインツアー、バスツアーの開催

- ・主に学生や外国人を対象に、オンラインやバスで福祉施設をめぐるツアーを実施した。福祉の職場で「はたらく」ことのやりがいや魅力を伝え、関心・共感の広がりや深化を図り、福祉職場への就職につなげることを目的に実施した。

センター区分	開催日	会場	人数	内容
南部	令和 3 年 11 月 13 日 (土)	高島市 (オンラインツアー)	8 人	訪問法人数：3 事業所 光養会、虹の会、高島市社会福祉協議会
	令和 4 年 1 月 16 日 (日)	甲賀市 (バスツアー — 甲賀モデル)	6 人	訪問法人数：2 事業所 八起会、さわらび福祉会
湖北	令和 4 年 3 月 12 日 (土)	長浜市社協外国人 初任者研修受講生 (バスツアー)	8 人	訪問法人数：2 事業所 尊徳会、ひだまり
合 計			22 人	

(4) カイゴとフクシ就職フェア in しがの開催

- ・介護・福祉職場と求職者とのマッチングの場として「カイゴとフクシ就職フェア in しが」を開催した。

開催日	会場	出展 法人 数	来場者数					クオカード (4も しくは5 法人以上 訪問)	1法人 あたり ブース 訪問者 数 (平均)	採用者数		
			学生	うち 下回生	社会人	学生	社会人					
6/19(土) I部	大津合同庁舎	16	39	13 33%	5 13%	26 67%	22 (56.4%)	7.8	2	2	0	
6/19(土) II部	大津合同庁舎	16	32	11 34%	3 9%	21 66%	21 (65.6%)	7.1	7	1	6	
6/26(土) I部	キラリエ草津	12	42	22 52%	5 12%	20 48%	27 (64.3%)	12.0	7	4	3	
6/26(土) II部	キラリエ草津	12	43	26 60%	5 12%	17 40%	28 (65.1%)	12.8	3	2	1	
7/17(土) I部	ビバシティ彦根	10	44	8 18%	4 9%	36 82%	22 (50.0%)	13.2	5	1	4	
7/17(土) II部	ビバシティ彦根	10	41	8 20%	4 10%	33 80%	28 (68.3%)	13.7	6	3	3	
7/10(土) オンライン	オンライン	30	3	2 67%	0 0%	1 33%	0 (0.0%)	1.0	1	1	0	
		106	244	90 37%	26 11%	154 63%	148 (60.7%)	9.7	31	14	17	
10/10(日)	G-NETしが	14	35	3 9%	0 0%	32 91%	19 (54.3%)	8.4	5	2	3	
10/16(土) I部	ピアザ淡海	16	41	15 37%	10 24%	26 63%	26 (63.4%)	8.9	4	2	2	
10/16(土) II部	ピアザ淡海	16	34	9 26%	7 21%	25 74%	23 (67.6%)	7.6	6	0	6	
10/24(日)	水口社会福祉センター	13	31	7 23%	3 10%	24 77%	19 (61.3%)	8.2	5	2	3	
11/7(日)	北部地域文化センター	14	24	7 29%	3 13%	17 71%	16 (66.7%)	6.2	6	0	6	
11/20(土) I部	米原市役所	8	16	2 13%	2 13%	14 88%	11 (68.8%)	6.1	2	2	0	
11/20(土) II部	米原市役所	8	12	1 8%	1 8%	11 92%	6 (50.0%)	4.9	0	0	0	
		89	193	44 23%	26 13%	149 77%	120 (62.2%)	7.2	28	8	20	
2/12(土) I部	大津合同庁舎	17	42	22 52%	20 48%	20 48%	31 (73.8%)	8.7				
2/12(土) II部	大津合同庁舎	17	37	8 22%	6 16%	29 78%	18 (48.6%)	7.3				
2/19(土) I部	ビバシティ彦根	12	22	5 23%	4 18%	17 77%	17 (77.3%)	6.5				
2/19(土) II部	ビバシティ彦根	13	23	5 22%	4 17%	18 78%	16 (69.6%)	6.2				
2/26(土) I部	大津合同庁舎	17	34	12 35%	11 32%	22 65%	23 (67.6%)	6.9				
2/26(土) II部	大津合同庁舎	18	49	24 49%	23 47%	25 51%	33 (67.3%)	9.6				
		94	207	76 37%	68 33%	131 63%	138 (66.7%)	7.5	0	0	0	
合計		289	644	210	120	434	406		59	22	37	

2月の就職フェアの採用者数は令和4年度に集計を行う。

<フェアの内容>

今年度は、対面式で19回、オンラインで1回、計20回開催した。対面式については昨年引き続き出展法人数を絞り、コロナ感染症拡大防止対策を講じた上で実施した。オンライン参加者数は参加者のニーズが対面式となってきたことから少なかった。

(5) 介護に関する入門的研修の開催

- ・介護の基本的な知識・技術を学ぶ機会として「介護に関する入門的研修」(21時間)を実施した。なお、びわこ成蹊スポーツ大学生を対象に、初めて「基礎コース」を実施した。

(カリキュラム内容)

	時間		内容
1日目	9:30~9:45		オリエンテーション
	9:45~11:15	1.5時間	介護に関する基礎知識
	11:30~13:00	1.5時間	介護の基本
	14:00~16:00	2時間	障害の理解
2日目	10:00~16:00	10時間	基本的な介護の方法
3日目	10:00~16:00		
4日目	9:30~11:30	2時間	介護における安全確保
	12:30~16:30	4時間	認知症の理解
	16:30~16:45		修了式

(開催日程等)

区分	日程	会場	参加者数	就職者数
南部	令和3年 9月6日(月) 9月7日(火) 9月13日(月) 9月14日(火)	県立長寿社会福祉センター	8人	1人
	令和3年 9月28日(火) 9月29日(水) 10月5日(火) 10月6日(水)	高島市市民交流施設 今津東コミュニティセンター	3人	0人
	令和4年 2月18日(金)	びわこ成蹊スポーツ大学(基礎講座)	3人	-
湖北	令和3年 5月15日(土) 5月22日(土) 5月29日(土) 6月5日(土)	長浜市市民交流センター	16人	0人
	令和3年	ひこね燦パレス		

	10月9日(土)			
	10月14日(木)		15人	1人
	10月21日(木)			
	10月28日(木)			
	11月4日(木)			

(6) 離職した介護福祉士等の届出の推進、再就職支援セミナーの開催

①届出

- ・離職の有無にかかわらず、人材センター求職登録者や福祉研修センターの各種研修受講者への制度周知および届出の勧奨を図った。

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
届出者数	149	120	201	156	890

②「就職支援セミナー」および「福祉のお仕事入門セミナー」の開催

- ア. 介護職場への就労支援のため、主に離職介護福祉士等を対象に「就職支援セミナー」を開催した。開催にあたっては、介護・福祉人材センターによる「介護の職場で働くにあたっての支援制度」の説明や「ミニ相談会」も実施し、参加者の満足度向上を図った。

センター区分	開催日	会場	人数	講師
南部	令和3年 11月23日(火)	草津市キラリエ	6人	滋賀県介護福祉士会 山口路子
	令和3年 11月23日(火)	草津市キラリエ	6人	滋賀県介護福祉士会 山口路子
	令和4年 2月2日(水)	草津市キラリエ	10人	滋賀県福祉用具センター 谷 佳代
湖北	令和3年 5月1日(土)	長浜市民交流センター	9人	滋賀県福祉用具センター 谷 佳代
	令和3年 12月4日(土)	ビバシティ彦根	7人	彦根総合高等学校 池谷美紀
合 計			38人	

- イ. 令和3年9月より、介護・福祉分野の仕事に関心をもつ方に、分野ごとの仕事の内容や職種、福祉の資格、求人の現状や傾向、就職活動の方法などについて、人材センター相談員が解りやすく説明し、就職意欲を喚起し介護・福祉の職場への入職を促すことを目的として、新たに「福祉のお仕事入門セミナー」を実施した。

実施回数	会場※	参加者数	新規登録者数	採用数
令和3年9月より毎月第3金曜日：7回	マザーズジョブステーション草津駅前	20人	6人	1人

※会場参加とオンライン参加（実績3人）を併用して実施

（7）無料職業紹介事業等の実施

①概要

・職業安定法第33条に基づく厚生労働大臣許可のもと無料職業紹介事業を行った。

センター区分	新規求人数 (年累計)	新規求職者数 (年累計)	有効求人数 (年平均)	不有効求職者数 (年平均)	有効求人倍率 (年平均)	紹介・応募数	紹介・応募のうち採用数	就職フェア等を通じた採用数	採用数計
南部	3,423	1,085	850	309	2.75	100	68	74	142
湖北	1,239	359	336	92	3.65	31	13	40	53
合計	4,662	1,444	1,186	401	2.96	131	81	114	195
令和2	4,287	1,226	1,080	328	3.29	92	61	48	109
令和元	4,364	1,320	1,139	393	2.90	113	67	89	156

・人材センターでの採用数の推移

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
人数	160	118	93	88	156	109	195

②求人情報等の発信

・毎月2回、最新の求人情報をまとめてホームページ等で公開しマッチングの資料として活用した。希望者には求人情報誌を送付した。

③地域へ出向いての就職活動支援

ア. ハローワーク等でのガイダンス・就職説明会、出張相談の実施

- ・各圏域のハローワークでは、
- ・南部では、主にハローワークや関係機関での求職者へのガイダンス、出張相談を実施した。また、ハローワークにおける「介護・福祉の職場ガイダンス」終了後、2～3事業所による地域密着型の小規模な就職説明会を開催した。
- ・湖北では、長浜市立市民交流センターおよびビバシティ彦根において、「就職説明会」を10回開催し、採用数の増加につなげた。

<介護・福祉の職場ガイダンス>

センター区分	開催場所	開催時期・回数	参加者数	新規求職登録者数	採用者数
南部	ハローワーク大津	毎月第4木曜日 11回	192	25	4
	ハローワーク草津	毎月第3月曜日 11回	202	6	1
	ハローワーク甲賀	奇数月第2水曜日 6回	53	2	1
	ハローワーク東近江	偶数月第2水曜日 7回	85	5	3
	ハローワーク高島	偶数月第1木曜日 4回	28	3	1
湖北	ハローワーク彦根	毎月第4火曜日 11回	94	6	0
	ハローワーク長浜	毎月第3火曜日 11回	119	4	0
合 計			773	51	10

<就職説明会>

センター区分	開催場所	開催時期・回数	参加者数	新規求職登録者数	採用者数
南部	ハローワーク大津	毎月第4木曜日 10回	49	27	2
	ハローワーク草津	毎月第3月曜日 8回	44	22	3
	ハローワーク甲賀	奇数月第2水曜日 5回	22	9	1
	ハローワーク東近江	偶数月第2水曜日 6回	21	12	1
	ハローワーク高島	偶数月第1木曜日 3回	7	4	0
湖北	長浜市立市民交流センター	奇数月第1土曜日 5回	50	7	4
	ビバシティ彦根	偶数月第1土曜日 5回	80	30	7
合 計			273	111	18

<出張相談（要予約）>

センター区分	開催場所	開催時期	相談者数	新規求職登録者数	採用者数
南部	シニアジョブステーション滋賀	毎月第2木曜日	0	0	0
	滋賀マザージョブステーション	毎月第4水曜日	8	5	1
湖北	ハローワーク彦根	毎月第4火曜日	0	0	0
	ハローワーク長浜	毎月第3火曜日	0	0	0
	木之本まちづくりセンター	6月、10月、2月 第2金曜日	0	0	0
合 計			8	5	1

<市町および養成施設等における就職支援>

センター区分	養成施設名・養成コース	開催日	受講者数
南部	(有) スタック 初任者研修	令和3年 5月25日(火)	15
	(公財) 介護労働安定センター 実務者研修	令和3年 6月14日(月)	28
	(有) スタック	令和3年 9月2日(木)	15
	(公財) 介護労働安定センター 実務者研修	令和3年 11月4日(水)	28
	(有) スタック	令和3年 12月10日(水)	12
	大津市 (入門的研修後)	令和4年 1月11日(火)	18
	大津市 (入門的研修後)	令和4年 2月13日(日)	28
	大津市 (入門的研修後)	令和4年 3月5日(土)	22
合 計			166

イ. 学校、各市町等との就職説明会等への出展等

センター区分	開催名称	開催日	会場	概要
南部	花園大学	令和3年 4月~12月	花園大学 (WEB)	動画にて出展
	高島市「介護と福祉の就職フェア in 高島」	令和3年 10月17日(日)	安曇川公民館	出展法人数：12 来場者数：11
	高齢者の介護・看護 合同職場説明会&面接会 in おうみはちまん	令和3年 11月6日(土)	県立男女画 共同参画 センター	出展法人数：9 来場者数：28
	大津市「おおつ合同就職面接会」※	令和4年 1月19日(水)	大津市役所	出展法人数：30 来場者数：28
	高島市「介護と福祉の就職フェア in 高島」	令和4年 3月13日(日)	安曇川公民館	出展法人数：13 来場者数：17
湖北	長浜・米原	令和3年 10月30日(土)	長浜市神 照まちづ くりセン ター	出展法人数：14 来場者数：11
	湖東	令和3年 12月11日(土)	ピバシテ イ	出展法人数：12 来場者数：23
	湖東	令和3年 12月11日(土)	ピバシテ イ	出展法人数：10 来場者数：20
	湖東	令和4年 2月10日(木)	ピバシテ イ	出展法人数：8 来場者数：12
	湖東	令和4年 2月10日(木)	ピバシテ イ	出展法人数：9 来場者数：11

※出店法人数 30 のうち、介護・福祉分野は 9 法人

④福祉職場の魅力発信・啓発

ホームページ、LINE、facebook、ツイッターによる情報発信

- ・LINE等を活用し、介護・福祉の仕事の魅力、就職フェア等のイベント情報、働きたい方への求職登録や求人情報の提供、介護・福祉職場で働いている方や事業者に向けた情報など、人材確保・定着の取組を発信した。WEBを活用した情報発信件数は323回となった。
- ・LINE登録者は475人となった。

(8) アクティブシニアの介護・福祉職場への就労等に係る個別相談

滋賀県生涯現役促進地域連携協議会からの委託により、「しがアクティブシニア相談窓口」を開設し、専属の相談員（キャリアコンサルタント有資格者）が概ね55歳以上の方を対象に、仕事のリタイア後の生活設計や就労をはじめとする様々な社会参加に関する相談など相談者のニーズに合わせたサポートを行った。

①相談窓口対応

- ア 実施期間 令和3年4月1日（木）～令和4年3月31日（木）
- イ 開設場所 南部介護・福祉人材センター内
- ウ 受付時間 月～金曜日（祝日、年末年始除く）9時～17時
- エ 延べ相談件数 526件

分類	件数	分類	件数
今後の方向性	174	求職活動方法	77
求人案件検討	77	適性診断	34
面接結果報告	52	その他	112

- オ 進路決定数 43件

分類	件数
就職決定（正規）	6（3）
就職決定（正規以外）	35（6）
ボランティア等	2（0）

※カッコ書きは、介護・福祉分野への決定者の内数

②セミナー・仕事説明会等での対応

協議会が開催する生涯現役セミナー&仕事説明会に参加し、個別相談に応じた。

開催日	会場	相談対応件数
令和3年7月15日（木）	高島市観光物産プラザ	5件
令和4年1月24日（月）	キラリエ草津	3件

2 「滋賀の福祉人」の定着支援・ネットワークづくり

(1) 新入職員の定着支援

① 実行委員会形式による合同入職式の開催

開催日	令和3年5月18日(火)
会場	琵琶湖ホテル。コロナの影響により会場参加は少人数とし、オンラインを併用して実施した。
内容	○合同入職式 滋賀県知事を迎え合同入職式を実施。会場参加者には知事より直接メッセージカードを交付。 ○交流会 内容：「なぜ大切なの？コミュニケーションの本当の意味」 講師：藤川恭子
希望者数	92人（会場参加、オンライン参加、メッセージカード交付者）
実行委員会（11団体）	滋賀県老人福祉施設協議会、一般社団法人滋賀県介護老人保健施設協会、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会、滋賀県ホームヘルパー協議会、特定非営利活動法人街かどケア滋賀ネット、一般社団法人滋賀県介護福祉士会、公益社団法人滋賀県社会福祉士会、滋賀県介護支援専門員連絡協議会、滋賀県介護福祉士養成施設協会、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会、滋賀県

② 新入職員フォローアップ研修・交流会の開催

開催日	令和4年3月8日(火) AM
会場	対面とオンラインの併用
内容	○交流会&オンライン研修 内容：「介護職員の接遇」 講師：藤川恭子
参加者数	25名

③ 2年目～4年目職員フォローアップ研修・交流会の開催

開催日	令和4年3月8日(火) PM
会場	対面とオンラインの併用
内容	○交流会&オンライン研修 内容：「コミュニケーション力の向上を図ろう」 講師：藤川恭子
参加者数	9名

(2) メンターの育成を通じた新入職員の定着支援

コース	参加者数	内容
基礎	9人 (7事業所)	メンター制度導入に向け、意義や進め方を学ぶ。 (講師) 幸重 忠孝 (幸重社会福祉士事務所代表) ・育成研修 (平成3年4月13日(火)、20日(火))
定着支援	15人 (14事業所)	1年間を通じたプログラムを通じ、メンターを育成する。 (講師) 幸重 忠孝 (幸重社会福祉士事務所代表) ・育成研修 (令和3年4月13日(火)、20日(火))

		<ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ研修（令和3年8月20日（金） 参加12人） ・成果報告会（令和4年2月25日（金） 参加 9人） ・支援員による巡回相談（2回 14事業所 面談 15人）
--	--	--

(3) 事業所向け定着支援事業

- ・事業所向けに「しが介護・福祉の職場定着支援セミナー」を3回実施した。

講師：(株)ケア・ビューティフル 山本陽子氏

内容：「職員が求める職場環境の考え方」

- ・また、講演会後に人材センターにより、「メンター制度」導入について提案説明を行った。

開催日	参加法人数/人数	内容
令和4年3月2日（水）	16法人/20人	上記のとおり
令和4年3月3日（木）	14法人/18人	〃
令和4年3月10日（木）	15法人/17人	〃
計	45法人/55人	

(4) キャリア・ライフ電話相談の実施

- ・介護・福祉職場職員からの職場の人間関係等の悩み、スキルアップ、キャリア・デザイン、ワーク・ライフ・バランスなどに関する電話相談等を実施した。

実施期間 令和3年4月1日（木）～令和4年3月31日（木）

月～金曜日（祝日、年末年始を除く）10時～16時

実施方法 電話相談

相談件数 16件

分類	件数	分類	件数
1. 職場内人間関係	6	4. 資格取得等のスキルアップ	3
2. ワーク・ライフ・バランス	0	5. 支援技術等ノウハウ	0
3. 職場のストレス（1以外）	5	6. その他（ハラスメント含む）	2

(5) 出前講座（無料講師派遣）の実施

- ・職場内研修支援事業として、滋賀県介護福祉士会及び滋賀県社会福祉士会等と連携し、無料講師派遣を実施した。回数25回。

<研修テーマ内訳>

分類	件数	分類	件数
対人支援の基本	5	働きやすい職場づくり	0
権利擁護・意思決定支援	12	看取り	1
認知症対応の基本	3	コンプライアンス	0
リスクマネジメント	4		

【滋賀県社会福祉研修センター】

各種研修は、昨年度に続きコロナ禍での開催となったため、定員の減少や研修会場を2会場に分散、また、一部ハイブリッド研修を導入しながら、感染防止対策を講じて行った。

9月の緊急事態宣言の影響により、外部会場の一部が使用できず日程を延期することはあったが、予定の研修は全て実施した。

1 介護分野で働く「滋賀の福祉人」育成研修

(1) 介護職階層別

① 新任期（原則3年未満）	（3.5日×5コース）	[修了者数] 87人
② 中堅期（原則5年未満）	（3日×1コース）	[修了者数] 48人
③ チームリーダー	（3日×1コース）	[修了者数] 39人
④ 管理職	（2日×1コース）	[修了者数] 24人

(2) 介護職員チームリーダー養成研修（17日×2コース） [修了者数] 34人

2 「えにし滋賀の福祉人」研修

(1) 社会福祉共通研修

① 新任期（原則3年未満）	（3.5日×1コース）	[修了者数] 46人
② 中堅期（原則5年未満）	（3日×1コース）	[修了者数] 45人
③ チームリーダー	（3日×1コース）	[修了者数] 45人
④ 管理職	（2日×1コース）	[修了者数] 17人

3 専門技術・課題別研修

(1) 障害福祉分野等における対人支援のための記録入門研修（2日×1コース）

[修了者数] 43人

(2) 高齢福祉分野における対人支援のための記録入門研修（2日×1コース）

[修了者数] 26人

(3) OJT推進リーダー研修（3日×1コース）

[修了者数] 33人

4 介護支援専門員の法定研修事業

(1) 介護支援専門員実務研修（15日×2コース）

[修了者数] 118人

(2) 介護支援専門員専門課程Ⅰ（9日×3コース）

[修了者数] 217人

- | | | |
|------------------|-------------------|-------------|
| (3) 介護支援専門員専門課程Ⅱ | (5日×3コース、8日×2コース) | [修了者数] 336人 |
| (4) 介護支援専門員再研修 | (10日×1コース) | [修了者数] 44人 |
| (5) 介護支援専門員更新研修Ⅱ | (10日×1コース) | [修了者数] 90人 |
| (6) 主任介護支援専門員研修 | (12日×1コース) | [修了者数] 82人 |

5 認知症に関する専門的研修事業

- | | | |
|--------------------------|------------|-------------|
| (1) 認知症介護基礎研修 | (1日×6コース) | [修了者数] 638人 |
| (2) 認知症介護実践者研修 | (8日×3コース) | [修了者数] 134人 |
| (3) 認知症介護実践リーダー研修 | (11日×1コース) | [修了者数] 40人 |
| (4) 認知症介護実践リーダーフォローアップ研修 | (5日×1コース) | [修了者数] 7人 |
| (5) 認知症介護サービス事業開設者研修 | (1日×1回) | [修了者数] 12人 |
| (6) 認知症対応型サービス事業管理者研修 | (2日×2コース) | [修了者数] 48人 |
| (7) 小規模多機能型サービス等計画作成者研修 | (2日×2コース) | [修了者数] 12人 |

6 権利擁護に関する研修事業

- | | | |
|--------------------------|-----------|-------------|
| (1) 権利擁護(身体拘束廃止)推進員養成研修 | (4日×1コース) | [修了者数] 26人 |
| (2) 身体拘束ゼロセミナー | (1日×1回) | [修了者数] 347人 |
| (3) 障害者虐待防止・権利擁護相談担当職員研修 | (1日×1回) | [修了者数] 26人 |
| (4) 障害者虐待防止・権利擁護施設従事者研修 | (1日×2回) | [修了者数] 267人 |

7 福祉・介護事業所の職場研修への講師派遣事業

[講師派遣実績] 25回

【福祉用具センター】

1 福祉用具(介護ロボットを含む)を活用したケアの推進

・安全なケアの促進や福祉用具の利活用を図るために、福祉用具セミナー・展示会を参集・オンラインで開催した。

(1) 福祉用具セミナー・展示体験会

テーマ ケアの質の向上へ～テクノロジーの導入と活用

内容 県内外事業所による実践報告、製品プレゼンテーション、製品展示

開催日 令和3年10月21日(木)

参加者・端末数 参加者38名、参加端末39台

2 抱え上げない介護推進事業

・職員の腰痛予防等労働安全衛生やケアの質の向上に有効な抱え上げない介護の推進に向け、啓発、取組事業所の創成、取組の定着を目的とする研修を開催した。また、一定の研修を修了し、積極的・継続的に実践している事業所を「抱え上げない介護推進事業所」として推奨する事業を開始し、第1回として2事業所を推奨した。

- | | | | |
|-----------------------------|-----------|-----------|-------|
| (1) 抱え上げない介護入門研修 | (1日) | [修了者数] | 63人 |
| (2) 抱え上げない介護実践研修 | (5日×2コース) | [修了者事業所数] | 13事業所 |
| (3) 抱え上げない介護定着研修 | (1日×3回) | [修了者数] | 35人 |
| (4) 抱え上げない介護技術指導者研修 | (1日) | [修了者数] | 14人 |
| (5) 抱え上げない介護アセスメント・プランニング研修 | (1日) | [修了者数] | 12人 |
| (6) リフトリーダー養成研修 | (2日) | [修了者数] | 20人 |
| (7) 抱え上げない介護出前講座 | | [受講事業所] | 7事業所 |
| (8) 抱え上げない介護推進事業所推奨事業 | | | |

推進事業所 甲賀市立介護老人保健施設ケアセンターささゆり

株式会社 JA ゆうハート水口ヘルパーステーション

3 高齢在宅介護者への介護方法や福祉用具の情報提供・発信

・在宅介護者の介護負担軽減等を図るため、セミナーの開催、常設展示や出前展示、ホームページ等による情報提供や発信を行った。

(1) 在宅介護セミナー

かいごのシゴト再就職応援セミナー

開催日 令和3年5月1日、令和4年2月2日

会場 草津市立まちづくりセンター、草津市立市民総合交流センター

内 容 【講義と実技】「介護技術の基本のキ」

参加者 19名

(2) 常設展示・見学受入(団体・個人)・依頼研修

①福祉用具センター展示

現在 625 点の福祉用具を展示

②展示福祉用具の試用評価および貸出等による活用

・試用評価貸出者 169名 件数 306件

分類別貸出用具件数			
入浴用品	45件	移乗用具・リフト	56件
トイレ用具	26件	コミュニケーション関連	35件
歩行支援	17件	家具・手すり	7件
自助具	86件	褥瘡予防	3件
衣類・靴	24件	その他	2件
車いす	5件	計	306件

・研修・展示等貸出実績

借用者	研修	展示・イベント
福祉関係機関・団体等	6件	1件
福祉用具取扱い事業所、メーカー	2件	1件
高校	1件	0件
計	9件	2件

③福祉用具センター見学者等の受け入れ

・福祉用具センター来館者数 1,883名

見学・視察(5団体)	106人	研修受講者	518人
見学・視察〔個人〕	271人	外部依頼研修(館内実施)	66人
来所相談	153人	その他来館者	600人
福祉用具試用貸出	169人		

・福祉用具センター利用者数 2,361名

来館者	1,883人	来所以外の相談	108人
出前講座等	251人	オンライン参加	119人

④地域、団体、学校等からの依頼研修の実施

5 件実施（センター内実施 3 件、出前講座 1 件）

実施日	依頼元	研修名	人数
10 月 13 日	介護労働安定センター	介護労働講習	27
11 月 8 日	大津公共職業安定所	介護就職デイ	7
11 月 12 日	大津公共職業安定所	介護就職デイ	10
11 月 22 日	滋賀県社会就労事業センター	障害者介護職員養成事業	

(3) 民生委員児童委員等地域リーダー・専門職への情報発信

- ・研修等で利用促進、関係機関・団体等に抱え上げない介護の啓発を行った。

(4) ホームページによる情報発信

- ・福祉用具の新製品等の情報提供を行った。

(5) 地域イベントへの福祉用具貸出し、出前展示

- ・新型コロナウイルス感染症感染対策のため、中止。

4 福祉用具専門研修

- ・福祉用具を活用した安全で快適なケア現場づくりを進めるために、介護・福祉事業所を対象にした福祉用具・住宅改修に関する専門的研修を実施した。

(1) 福祉用具基礎研修	(1 日)	[修了者数]	53 名
(2) 住宅改修研修	(1 日)	[修了者数]	18 名
(3) 車いすシーティング研修	(2 日間)	[修了者数]	14 名
(4) 福祉用具プランナー集合講習	(9 日間)	[修了者数]	19 名

5 介護負担軽減やより良い暮らしのための相談対応 (在宅・施設)

- ・医療・福祉サービスの利用者やその家族、施設・事業所等関係機関から、福祉用具や住宅改修等の相談を受け、アセスメントや選定や使い方の助言・指導、フォローアップ等を行った。

(1) 福祉用具等に関する相談対応

- ①福祉用具・住宅改修に関する専門的な相談対応

・相談内容と件数（複数の相談対応）

相談内容	件数	相談内容	件数
福祉用具の紹介	77件	住宅改修関係	9件
福祉用具の選定・使用方法	64件	更生医療・補装具関係	1件
福祉用具の改造	39件	その他	0件
福祉用具関係その他	35件	計	225件

②福祉用具等の改造・製作

・改造・製作の内容と件数

福祉用具の種類	改造・製作の主な内容	件数
衣類	下着、衣類の改造	6件
車用品	カーベルトの製作	1件

③自助具製作グループとの連携および技術指導

- ・活動室を利用する自助具製作グループと連携を図るとともに、必要に応じて製作にあたっての指導を行った。

6 福祉用具センターの運営管理

(1) 滋賀県福祉用具センター運営委員会の開催

開催日	協議事項および結果
令和3年8月5日	① 展示福祉用具の選定について(18点中18点採用) ② 福祉用具センターの事業について ・抱え上げない介護推進事業所推奨について
令和4年2月9日	① 展示福祉用具の選定について(12点中12点採用) ② 福祉用具センターの事業について ・福祉用具センターに求める機能について

(2) 福祉用具等に関する情報の収集、提供、普及に関する業務

- ・福祉用具・住宅改修についての情報収集および情報提供

新型コロナウイルス感染症拡大により、情報収集の機会である大規模展示会等が中止になり、インターネット等限られた手段からの情報収集に留まった。また、情報提供については展示会を開催するとともにホームページの有効活用を行った。

(3) 福祉用具センターおよび福祉用具センターの業務内容の普及に関する業務

- ・ホームページ等により、情報提供を行った。

(4) 関係機関・団体等との連携

- ・地域リハビリテーションを推進する各機関、団体等と連携し、相談体制の充実を図ったまた、福祉用具メーカー・福祉用具貸与販売事業所と連携し、福祉用具の普及促進を行った。

① 県立リハビリテーションセンターとの連携

- ・県立リハビリテーションセンター更生相談係と、福祉用具相談プラザとしてワンストップでの相談対応に努めた。
- ・福祉用具セミナー・展示体験会を共催で開催した。
- ・県立リハビリテーションセンターが事務局となる「多職種連携学会」の運営に参画した。

② 福祉用具メーカー・福祉用具貸与販売事業所との連携

- ・福祉用具展示品の寄託・寄贈を得た。
- ・日本福祉用具供給協会滋賀ブロックと福祉用具セミナー・展示会を共催で開催した。

③ 関係機関・団体との連携

- ・滋賀県介護支援専門員協会と福祉用具セミナー・展示会を共催で開催した。

